

社会福祉法人 育明会

事業所別 報告書

2022年度

事業報告書

特別養護老人ホーム

レジデンシャル百合ヶ丘

介護老人福祉施設（ユニット型）

介護老人福祉施設（従来型）

短期入所生活介護

介護予防短期入所生活介護

目次

I. 2022年度事業総括	2
1. 財務	3
2. 組織	4
3. サービス	5
4. 人材育成	6
5. 利用者の権利擁護	8
6. 地域との連携	9
7. リスクマネジメント	10
8. 事務管理体制	10
9. 諸規定の遵守及び検討	10
10. 防災対策及び施設の保全対策	11
11. 委員会活動	12
12. 行事・クラブ活動	12
13. 援助サービス各論	15
14. 短期入所生活介護サービス	23
15. 2022年度活動一覧	25
16. 各部署・委員会等からの活動報告	28

I. 2022年度 事業総括

川崎事業所（R 百合ヶ丘）の2022年度は、経営の安定を図るための利用稼働率の向上と、運営の安定を図るための人材の確保と定着に努めました。

まず、経営面については厳しい結果となりました。新型コロナを要因とした入所延期や利用キャンセルなど、新規入所やショートステイの利用調整が滞り、年間の利用稼働率90.3%、目標値95%を達成することができませんでした。また、事業費の支出管理によるコスト削減は図れたものの、物価や光熱水費の高騰により支出は増加となりました。

運営面における介護職員の人材確保については、特定技能生の採用など増員に繋がり、且つ、リーダー職員の日々の取り組みにより、職員育成の成果が現れてきています。一方で看護職員の確保は困難な状況が続きます。

今年度の大きな出来事は、12月に2番街ご利用者11名が新型コロナに罹患したクラスターの発生です。2番街介護職員が中心となり、各職種が連携して対応した結果、更なる拡大を防ぎ、短期間で収息させることができました。これも繰り返し実施してきた感染症研修の成果であると感じています。最前線に対応した介護、看護職員の強い使命感と、それを支えたチーム育明会の組織力を誇りに思うとともに、着実な成長を実感しています。

川崎事業所の大きな強みである地域との連携は、新型コロナ禍により制限せざるを得ない状況が続いておりますが、山中照三顧問をはじめとする西塔之越自治会の皆様から、有形無形のご支援をいただきました事に感謝を申し上げます。

施設サービスの細かな分野につきましては、以降の項目でご報告いたします。

1. 財務

(1) 稼働率状況

2022年度、入退所数は前年並みで利用者数は安定していたが、上半期は入院者が多く入所稼働率については苦戦したものの、ショートステイ床のミドル利用や空床利用により総稼働率は比較的堅調に推移し、9月には94.5%の稼働を得た。しかし、下半期については退所者のリカバリーにショートステイからの入所が増え、そのタイミングで新型コロナによるクラスターが発生したため、ショートステイの入所を控え、また、入院者の増加と長期化に加え、新型コロナの影響により待機からの入所が滞ることもあり、稼働状況の低下の要因となった。結果、目標に届かず、年間の総稼働率は90.3%であった。

(2) 安定した経営

稼働率が目標に届かず、前年より介護報酬及び利用料が減少、業者との交渉や変更、人材採用媒体の見直し、修繕等の内製化によりコスト削減を推進したが、物価高騰、特に水道光熱費の高騰の影響を受け、安定した経営には及ばなかった。

(3) 雇用の確保、安定

地道な採用活動と特定技能等の外国人雇用を進めたことで、介護職員については退職者も少なく、比較的安定した体制が確保できた。

他方、看護師については病気による長期療養者の職員の補充に苦戦し、やむなく派遣社員の受け入れに頼らざるを得なかった。

引き続き、客観性と透明性を担保した賃金体系を維持・雇用の安定と、適切な採用を進めていく。

(4) 財務諸表の公表

事業所単位で貸借対照表や収支計算書及び監事監査意見書等を、何人も閲覧できるようにホームページで公表した。

2. 組織

(1) 組織力の強化

管理監督職員で構成した管理職会議及び副主任を加えた拡大管理職会議や、職員会議を定例開催することにより、施設運営全般に関する情報の共有を図ることに努めた。

委員会活動においては、業務改善の提案や検討が活発に行われるようになり、活動の成果も実感できるようになってきたが、特定の職員に集中する傾向があり、幅広い職員の参加と、積極的なリーダーシップの発揮に加え、統率するマネジメント能力を身につける場として有効活用や、組織力の強化が今後の課題である。

(2) 円滑な組織運営

責任体制に従い、適切な上意下達を実施。また、意見があるときは組織系統に従って上申するなど浸透を図った。一方でボトムネックとなるような構造が発覚した場合には、即話し合い、解決に向けた対応を行い、末端まで周知させるよう円滑な組織運営を目指した。

(3) 組織としての人材育成

職員個々のスキルアップや資格取得支援に努めた。特に、資格取得支援については、スキルアップ研修を6ヶ月間に亘り開催し、1名が介護福祉士国家資格に合格した。また、次世代リーダー層の育成を目的としたステップアップ研修も開催した。

また、職員個々のスキルアップやキャリアアップを目的に、喀痰吸引等研修や実務者研修、ファーストステップ研修等、外部研修の受講も計画的に進め、職員の介護力の向上に繋がった。

(4) 広報活動

広報誌「百合ヶ丘便り」を毎月発行し、コロナ禍により面会に制限がある中、ご利用者家族にタイムリーに情報提供を行うことができた。

3. サービス

ケアサービスの向上や標準化、年中行事やクラブ活動等アクティビティの実践等については、各委員会等が企画、運営に努めた。新型コロナ感染対策により、行事やクラブ活動等中止せざるをえないこともあったが、対策を講じた上で随時再開してきた。しかし、今年度においても、ご家族や地域の方々との交流などは感染予防の観点から自粛することになった。

(1) 尊厳と信頼と安全・安心なサービス提供

リスペクトケアあらゆる場面においても敬意を持って対応する一をスローガンに掲げ、“尊厳”“信頼”“安全”“安心”を意識したサービスの提供に努めた。安全ベルトの装着、4本柵、エレベーター、居室の施錠等、心理的、身体的拘束を一切行わないケアが提供できた。

(2) 利用者、家族ニーズの把握と対応

ご利用者・家族の個別的なニーズについては、利用契約時における各種アセスメントと、入居後に行われるケアプラン会議などご利用者及びご家族のニーズの把握に努め、より個別的なケアプランに反映させるよう努めた。また、施設サービスや運営・管理などに関するニーズについては、「ご利用者の皆様との懇談会」の開催や施設内に意見箱を設置しニーズ把握に努めた。しかし、「家族懇談会」とご家族が参加してのケアプラン会議は、今年度も感染予防の観点から開催を控えざるを得なかった。

(3) 重度化への対応

医療依存度の高い利用者の受け入れという社会的ニーズが増える中、医療処置を継続的に必要とする利用者の受け入れを行った。

重度化への対応と介護職員のキャリアアップ及びキャリア形成を目的に、喀痰吸引等第2号研修の受講を進め、介護職員による特定行為（胃ろう又は腸ろうによる経管栄養及び喀痰吸引）資格の取得を継続している。重度化対応とは、看護と介護が連携した高度な介護サービスに対応することであり、年間を通して対応できたことは、当施設の介護力の向上に繋がったと考えている。

(4) 感染症対策

感染症・食中毒予防対策委員会を中心として、年間を通して「罹らない、持ち込まない、拡げない」を合言葉に、研修も含め標準予防策に基づいて予防に努め、2018年度よりノロウイルス、インフルエンザの罹患は0名が続いている。また、前年に引き続き「新型コロナウイルス」対策として新型コロナ感染症予防研修の開催、職員の健康チェックや手指衛生の強化、施設内の消毒、ご家族や業者などの立ち入り制限など、感染症予防対策を前年に引き続き徹底した。が、新型コロナウイルスの変異株の感染力は猛威を振るい、職員のコロナ陽性者は42名、ご利用者は14名罹患した。しかし、それらの影響で出勤できない職員の業務は、同部署の職員がフォローし合い、各施設サービスを停滞させることなく提供することができた。ご利用者に関しても重症化することなく皆様軽快。これもチームで早期に発見、対応した結果だと感じている。

(5) 質の高いサービスの提供と標準化

管理監督職を中心とした管理職会議において施設運営の舵を取り、サービスの水準を高く、安定させることに努めた。また、日々の申し送り等における監督者によるスーパービジョンにより、職員の気付きを促すとともに、ケアの方向性を示すことに努めた。

4. 人材育成

職員個々の能力開発やキャリア形成を図るための各種研修を行ってきた結果、非常勤職員の雇用のままではあるが、就労時間の延長、業務の拡大を望む職員が増えてきおり、優秀な人材の確保という成果に繋がっている。

新採用職員には、個々のスキルに合わせた教育として、チューター制によるOJTを実施したが、チューターを担う職員のスキルの標準化が不十分であったことは今後の課題である。

また、感染症及び食中毒予防研修や介護事故防止研修など、介護福祉施設の運営基準に則った研修の開催の他、介護の知識及び技術の向上を目的としたスキルアップ研修の開催、ファーストステップ研修や喀痰吸引等研修、実務者研修などの外部研修にも計画的に受講を進めてきた。そして、今年度も約半年の期間を掛けて、介護福祉士国家資格の取得に向け、スキルアップ研修を行い、1名が国家試験に合格、資格を取得することができた。

意欲的に自己研鑽に励んで欲しいとの考えの下、研修参加者には参加ポイントを発行し、年間取得ポイントの多い職員を表彰、副賞を贈呈した。

<2022年度 研修開催状況>

日 時	テーマ	講師	参加数	時間 (分)
4月25日	褥瘡発生予防 ～ポジショニング基礎研修～	山崎介護係長	20	90
5月13日～ 5月24日	虎の穴大作戦 ～新入職職員研修～	各部署リーダー	7	3840
6月8日	新入職職員研修 ～法人理念・社会人にとって必要な力とは～	佐原理事長	14	90
6月10日 6月24日	感染症・食中毒予防対策研修 ～標準予防策とその実践～	高橋法人顧問 高橋法人顧問	33 53	90 90
7月11日	口腔衛生研修 ～他職種協働で守る、高齢者の口腔～ ～困った心配…不安を解消する！誤嚥させない食事介助～	神奈川摂食嚥下リハビリテーション 川崎地区世話人 本間久恵歯科衛生士 治田悠介認定看護師	36	90
7月19日 7月28日 9月30日	権利擁護研修～映画「しわ」鑑賞～ 認知症とは？介護とは？		26 14 21	90 90 90
7月19日 7月21日 7月25日 7月28日	ケアパレットの操作説明	高橋相談支援課長 高橋相談支援課長 高橋相談支援課長 高橋相談支援課長	5 11 11 11	120 120 120 120
8月11日	スキルアップ研修① ～介護福祉士受験対策講座～	高橋統括施設長	8	90
8月19日	事故発生防止対策研修 ～服薬ミスの原因と対策を考える～	高橋統括施設長	24	120
9月23日	スキルアップ研修② ～介護福祉士受験対策講座～	高橋統括施設長	9	90
9月26日 9月29日	褥瘡発生予防対策研修 ～褥瘡について詳しく知ろう～	外池施設長 外池施設長	25 18	120 120
10月28日	スキルアップ研修③ ～介護福祉士受験対策講座～	高橋統括施設長	8	90
12月23日	スキルアップ研修④ ～介護福祉士受験対策講座～	高橋統括施設長	5	90
2023年 1月17日 1月20日	感染症・食中毒予防対策研修 ～季節感染症とノロ感染による 吐物処理の手順～	高橋法人顧問 高橋法人顧問	28 37	90 90

日 時	テーマ	講師	参加数	時間 (分)
1月27日	スキルアップ研修⑤ ～介護福祉士直前受験対策講座～	高橋統括施設長	9	90
2月13日	看取り介護研修	高橋統括施設長	31	90
2月16日		高橋統括施設長	13	90
3月8日	権利擁護研修 ～わたしならどうする～	外池施設長	46	90
3月17日		外池施設長	25	90
3月28日	労働安全衛生研修 ～生活習慣病について 医師が教えるダイエット～	産業医 初谷守朗医師	34	90
3月30日	排泄ケア研修 ～おむつの当て方基本の「き」～	リブドゥーポレーション 末藤真希子氏	23	60
総合計			605	6540分

<2022年度 外部研修参加状況>

研修名	参加者
介護福祉士ファーストステップ研修	1名
喀痰吸引等研修（第二号研修）	2名
介護福祉士実務者研修	4名
介護保険請求事務研修	1名
褥瘡予防研修	1名
神奈川県未病改善の為にオーラルフレイル指導者育成事業研修	1名
医療的ケア教員講習会	1名
介護保険施設等看護研修	1名

<2022年度 研修ポイントゲッター>

順位	氏名	ポイント	順位	氏名	ポイント
1位	清水 麻子	28	5位	長井 真希子	20
2位	久保田 伸一	24	6位	村松 浩恵	19
3位	津島 昭子	22	7位	山崎 諭憲	18
4位	鈴木 貴之	21	7位	京極 智幸	18
5位	西山 奈智子	20	8位	張 慧蓉	17

5. 利用者の権利擁護

(1) 成年後見制度の活用

ご利用者の権利を守ることを第一に考え、財産管理及び契約行為を代行する成年後見制度の活用を進めた。成年後見制度の活用の仕方や申し立てに関する相談にも応じ活用を促した。

(2) 預り金の適正な保管と管理

預り金管理規定に基づき、預貯金及び小口現金の適切な管理、出納を行い、本人及び、ご家族に対し毎月書面にて報告した。また、銀行と施設間における管理規定を設け、ご利用者の預り金の管理を厳正に行った。

6. 地域との連携

(1) 社会資源としての地域連携

当施設の特徴である地域との交流については、新型コロナウイルス感染症流行に伴い、施設開放についても制限をせざるを得ない状況となり、今年度も地域の方々との交流を図ることができなかった。

(2) キッズコーナーの利用状況

地域の子育て中のママたちが小さなお子さんを連れてカフェマルシェを利用していることや、職員の子供達が母親の仕事が終わるのをマルシェの中で待っている姿をヒントに、マルシェの一角にクッションマットを敷いて小さな子供達が安全に遊べる空間としての“キッズコーナー”を設けて以降、地域の方々や面会のご家族、職員の子供達などの利用が定着していた。

しかし、今年度も新型コロナウイルス感染症流行に伴い、キッズコーナーの使用を中止とした。

(3) 施設見学の受け入れ

本入所やショートステイの利用を検討しているご本人やご家族、担当ケアマネの見学や、特養がどのような施設なのかを知るための見学など、様々な見学ニーズに生活相談員を中心に対応している。

新型コロナウイルス感染症の流行以降は、感染症予防の観点から入居者居住ス

ペースの見学は中止とし、1番街共用スペースにおいて説明を行っている。
今年度は46名の方の見学や相談に対応した。

7. リスクマネジメント

- (1) 苦情解決責任者を中心に、意見や苦情を汲み上げる体制を整えてきた。
今年度は、ご利用者との日常的な関りの中から、苦情の芽となる訴えをキャッチすることに取り組み、職員の意識が少しずつ向上してきたと感じている。
- (2) 事故報告書、ヒヤリハット報告書による情報の共有は図れているが、報告に留まり、事故の分析や予防対策を講じることは不十分であった。

8. 事務管理体制

- (1) 消耗品については、適切な在庫管理に努めるとともに、品目の見直しや購入業者の見直しを行い、可能な項目においてはコスト削減を実施したが、昨今の情勢により水道光熱費や仕入れ価格の上昇もあり大幅な削減とはならなかった。今後は使用方法の見直しなど職員の意識改革の向上が必要だと感じた年度であった。
- (2) 施設設備等の管理については維持管理を専門業者に委託し、定期的な点検を実施。設備の不具合や修理などは当籍職員を中心とした内製化を進めた。収支状況が見据えながら、従来実施できていなかったメンテナンスなどを行い、利用者が安心して生活でき、職員が安全に働ける環境づくりに取り組んだ。

9. 諸規定の遵守及び検討

介護保険関係法令を遵守した運営を行った。また、就業規則等法人諸規定を遵守するとともに、各種法改正に伴って適切に諸規定の見直し等実施した。

10. 防災対策及び施設の保全対策

(1) 防災訓練

川崎市健康福祉局による防災無線での伝達訓練及び E-WELFISS を活用した災害時情報共有システム訓練に参加し、非常災害時の情報伝達方法について確認を行った。また施設での防火訓練を実施した。

(2) 防災減災研修

委託業者による防災監視盤の取り扱いについてのレクチャーを受けた。次年度は職員への周知を図るとともに、消防署と連携し、防災、減災に向けた研修を実施したい。

(3) 備蓄品の整備

備蓄食品の期限管理を適切に実施、ヘルメット、ライトや誘導灯等の整備及び点検を行った。

(4) 地域防災協定に伴う取り組み

西塔之越自治会との地域防災協定を締結に伴い、合同の防災訓練等を検討したが、新型コロナの影響により実施できず次年度の課題となった。

(5) 川崎市との二次避難所協定の締結

川崎市との二次避難所協定(災害時要援護者等の避難施設として使用することに関する協定)の締結に伴い、提供された備蓄物資を適切に保管し、有事に備えた。

1 1. 委員会活動

委員会活動については、運営基準に則った委員会に加え、各サービス分野別の委員会を構成し活動した。昨年度と比較して委員会を中心とした取り組みを行うことができた。

1 2. 行事・クラブ活動

(1) 行事実施状況

行事委員会を中心に企画運営を行い、ご利用者と喜び、楽しみを共有し、職員間の連携力の強化に繋げることを意図して企画してきた。しかし、新型コロナウイルス感染症対策の影響もあり、最大のイベントであるサマーフェスタ、キッズフェスタなど、昨年度同様、開催できなかったことは残念であった。

- 4月23日 **【開設記念お祝い膳】**
レジデンシャル百合ヶ丘開設5周年をお祝いし、昼食時にお祝い膳の提供を実施、誕生日のお祝いを行った。
- 7月10日 **【サマーバーゲン IN マルシェ】**
コロナ渦で中止していた衣類販売会を開催。1番街マルシェがブティックに！思い思いにショッピングをお楽しみいただいた。
- 7月13日 **【そうめん流し】**
昨年度に続き、百合ヶ丘では2回目となる、そうめん流しを開催。皆様そうめんを一生懸命歓声上げながらすくい、「料亭さ하라」料理長による揚げたての天ぷらとご一緒にお召し上がりいただき、涼のひとときをお楽しみいただいた。
- 8月31日 **【ビアガーデン】**
昨年度に引き続きサマーフェスタの代り、1番街マルシェに屋台を出し、ビアガーデン会場に。屋台メニューとビールを片手に暑気払いを行った。

- 9月16日 **【敬老祝賀の集い・敬老お祝い膳】**
- 9月19日 9月16日お楽しみの寿司バイキング！今年のお寿司を一番召し上がった方はどなただったでしょうか…。
9月19日にお祝いの式典を開催。
- 10月26日 **【百合ヶ丘大運動会】**
各番街ご利用者&職員対抗の運動会を開催。競技に集中し白熱の展開に！今年度は2番街が優勝し、トロフィーを贈呈。
- 12月23日 **【クリスマスバイキング】**
メインにはシェフ特製のビーフシチューとローストポークとローストチキンの2種類のお肉を、デザートは数種類から選べるケーキを、好きなだけお召し上がりいただくというのが育明会流のおもてなし。ご利用者からは笑顔が溢れ、とても喜んでいただけた。担当職員からはメッセージカードをお渡しした。
- 12月26日 **【もちつき大会】**
例年は、西塔之越自治会との共催で行っていたが、今年もコロナの影響により自治会の開催は中止となり、施設単独での開催となった。搗き立てのお餅を、餡子餅、からみ餅にし、常盤台農園産のお新香と合わせて提供し大変喜ばれた。
- 1月1日 **【元旦祝膳】**
今年のお正月は施設長の挨拶からスタート。お屠蘇で乾杯し、お雑煮とお節料理をゆっくりとお楽しみいただいた。
- 1月8日 **【新年祝賀の集い】**
お正月恒例となった、米田様と井口様によるお琴と尺八の演奏、民謡クラブの大塚先生と秀美会社中による民謡ショーで新年をお祝いし、明るく華やかな一年の始まりとなった。
- 1月22日 **【SOMETHING コンサート】**
12月にクリスマスコンサートを開催予定であったが、施設内コロナ感染症対応で延期。SOMETHINGの皆様ご協力により、ニューイヤーコンサートを開催。新春にふさわしい素敵な歌声に包まれ皆様にお楽しみいただいた。

- 2月2日 【節分豆まき】
襲来した8体の鬼（育明会恒例、鬼役は各部署のリーダー）を、ご利用者、職員が一斉に豆を撒き、邪鬼を退治！鬼は退散し、百合ヶ丘に春が訪れました。
- 3月23日 【お花見弁当】
常盤台農園産野菜を使用し、栄養係が心を込めて作ったお花見弁当を提供し春のひとときをお楽しみいただいた。
- 3月28日 【お花見】
29日 コロナ渦で中止していたお花見へご案内。今年は近隣の塔之
30日 越里公園に施設車送迎で、合計87名の方をお連れしお楽しみいただいた。

(2) クラブ活動実施状況

音楽療法士の玉本先生による“ミュージックピアッツァ”と、秀美会会主の大塚先生による“民謡クラブ”など、ボランティアの協力を得ながら、ご利用者の“楽しみ”の提供に努めた。また、2022年2月より開始したボッチャも好評でたくさんのご利用者から身体を動かせる機会が増えたとお声があった。2022年度は新型コロナウイルスの影響によりクラブ活動を中止せざるを得ないこともあったがそれでも多くの方々に楽しみを提供できた。

クラブ活動内容	実施回数	延べ参加人数
ミュージックピアッツァ	20回	635名
民謡クラブ	19回	606名
のど自慢大会	21回	638名
書の会	21回	220名
よいどころ	4回	135名
Let`ボッチャ	9回	169名

13. 援助サービス各論

(1) 介護係

○医療ケアと重度化対応について

- ・胃瘻、喀痰吸引、在宅酸素、インスリン、バルンカテーテル留置など、医療的ケアが必要とされる方々に対して、看護職員との連携、情報共有を図りながらケアサービスを提供した。
- ・褥瘡予防については看護職員と連携し、適切なポジショニングや清潔保持に向けてケア、研修を行った。発生した場合は速やかに対策を講じ、迅速な対応を行う事で、早期の治癒、予防策の検討、実施に努めた。

○チームケア力の向上

- ・固定配置を基本にしながらも、流動的に職員が動くことによって、全体の利用者の情報を共有するとともに、共通の認識を持ってケアに当たることが可能となった。
- ・各職種、ケアエイドを含めて「ほう・れん・そう」を大切にすることを意識してきた。一つのチームとして同じ情報を全員で共有することに努めた結果、全体でご利用者のケアを考える事ができるようになってきた。

○感染症予防について

- ・虎の穴大作戦や季節感染症対策研修で身に着けた知識をもとに、感染症予防に努めた結果、今年度も、インフルエンザ、ノロウイルス共に、罹患者“ゼロ”であった。
- ・開設当初から、ご家族を含めた来所者にも、手洗いを促し、協力を呼び掛けてきたことで、現在では促さなくても自主的に手洗いをしてくださっている。現在は手洗いに加えて検温と体調チェックにも取り組み、感染症予防に努めている。今後も感染症を“持ち込まない”ための取り組みを継続していく。
- ・新型コロナ感染については、変異株の流行もあり当施設においても 2022 年度は職員 42 名、ご利用者 14 名が罹患したがいずれも軽症で軽快している。“拡げない”という取り組みもまたチーム一丸となっておこない、初動の早さと多職種連携が発揮された結果、重症者を出すことがなかった。今後もこの経験を活かし感染症予防を継続していく。

○職員の育成と定着

- ・技能実習生の受け入れを今年度も行い、外国籍の職員の人数が年々増えている。外国籍職員の定着率は良く、フットワーク良く業務をこなす姿が目

立った一年であった。育明会のケア理念である”リスペクトケア”の考え方の浸透、如いてはロイヤリティーの醸成については引き続き努力し安定的な職員のケアの質の向上に繋げていく。

(2) 看護係

○医療的ケアと対応

- ・看護と介護が連携し、情報の共有、医療的な知識・技術のサポートなどを図りながら、医療依存度の高いご利用者の受け入れを行った。
- ・昨年度 43 件であった入院件数は、今年度も 43 件と大きな変化は見られなかった。開設当初に入居された方も時間と共に身体状況に変化がみられようになり、入院についても長期化することは昨年度同様にみられた。また、新型コロナウイルスの影響により入院加療される方もいたが入院件数に大幅な増加はなかった。
- ・高齢者に多い脱水や尿路感染を防ぐため、いつでも気軽に水分を摂ることができるよう、各番街にウォータージャグを設置している。また、嚥下状態に合わせて、水分補給用のゼリー（お茶・イオンゼリー）を用意し、水分を摂取しやすい環境を整え、水分補給の環境整備に加えて、それを活かす日常のケアについても随時見直しを行った。

○医師や医療機関との連携

- ・協力医療機関であるたま日吉台病院から飛田医師（内科）が毎週火曜日に診察。舞鶴会飛鳥病院からは田村医師（精神科）が月 2 回第 1、3 金曜日に診察。月 2 回東山田ヒルズクリニックから曾田医師（内科）を招聘し、医療体制を整えた。
- ・ご利用者の状況をみながら、適宜、ご家族と主治医との面談の場を設け、ご家族の意向の確認に努めた。主治医と直接相談することで、入院検査・治療の方向付けと対応もスムーズに行うことができた。
- ・特に、協力医療機関であるたま日吉台病院への通院・入院については、地域連携室を窓口とした病院との連携により、スムーズに対応していただけた。
- ・精神科医師の配置により、認知症をはじめとする精神症状が悪化した場合の相談や対応もスムーズに行えた。

○口腔機能の維持向上

- ・川崎市麻生区歯科医師会及び東山田ヒルズクリニック歯科部門の協力を得て、適宜、歯科診療に繋げることができた。
- ・口腔機能の維持向上、嚥下機能の改善を目的に取り組んできた口腔体操に

についても、介護職員及び食事に携わるキッチンエイドにより、確実に行えている。

○褥瘡対策について

- ・褥瘡予防対策委員会を中心に介護との連携を図り、定期的なスクリーニング（ブレードンスケール）による褥瘡発生リスクの観察と、それに基づいた褥瘡予防計画と治療計画を作成し、対応に努めた。

○感染症及び食中毒対策について

- ・昨年度に続き、感染症を施設に“持ち込まない”ことを目的に、職員の健康観察と体調チェック、出退勤時の検温の実施、関係者以外の入館制限などの対策を講じてきた。また、感染症に関する最新情報を踏まえた職員研修会の開催も、感染症の予防に繋がっている。
- ・インフルエンザやノロウイルスといった季節感染症の発症は“ゼロ”であった。

○新型コロナワクチン予防接種

- ・第4回目…7月14日、7月21日、7月26日
- ・第5回目…2023年1月5日、1月10日、1月12日、1月17日
たま日吉台病院の飛田医師と看護師、レジデンシャル常盤台の協力を得て計画的に実施した。

○インフルエンザワクチン予防接種

- ・2022年12月15日と12月22日の2回に分けて、飛田医師とたま日吉台病院の協力を得て全てのご利用者に実施した。

<入院状況> (件)

	男性	女性	計		男性	女性	計
2022年4月	3	3	6	2021年10月	2	2	4
2022年5月	1	2	3	2021年11月	1	2	3
2022年6月	4	3	7	2021年12月	2	4	6
2022年7月	0	0	0	2022年1月	1	4	5
2022年8月	3	1	4	2022年2月	0	2	2
2022年9月	1	1	2	2022年3月	0	1	1
				2021年度合計	18	25	43

<主な入院理由>

① 肺炎	13	⑥ 脳血管疾患	3
② 心不全	2	⑦ 骨折	2
③ 尿路感染	4	⑧ 精査目的	7
④ 脱水	2	⑨ その他	10
⑤ 蜂窩織炎	0	合計	43

<入院日数>

	2022年度	2021年度
最長入院日数	115日	109日
最短入院日数	3日	2日
平均入院日数	37.0日	32.0日

<入院先の医療機関>

たま日吉台病院（協力医療機関）	27	市立多摩病院	0
横浜新都市脳神経外科病院	2	横浜新緑総合病院	1
新百合ヶ丘総合病院	6	飛鳥病院	0
聖マリアンナ医科大学病院	5	市立井田病院	1
麻生総合病院	1	合計	43

<退所数>

年間退所者数	22名
--------	-----

内 訳	
ご逝去（内、看取り）	10名（0）
医療機関転院	12名
在宅	0名
介護保険施設	0名
その他	0名

<医療処置・内容と人数> 2023年3月31日現在

グレード1	6名	褥創	5名
		浣腸・摘便	1名
グレード2	9名	膀胱留置カテーテル	3名
		喀痰吸引	3名
		インシュリン	3名
グレード3	8名	胃瘻	5名
		在宅酸素療法	3名
		点滴	0名

<医療指針におけるグレード>

◆グレード1

- ① 褥瘡処理
 - ② 浣腸、摘便
 - ③ 医師より1日2回のバイタルサインチェック（体温、脈拍、血圧、酸素飽和度）の指示
- ・施設内で日常的に医師の指示により看護師が実施可能な医療行為です。
 - ・利用者が入居時に必要となった場合も、利用の継続が可能です。

◆グレード2

- ① 導尿、膀胱留置カテーテル、腎ろう、膀胱ろう
 - ② 人工肛門（ストーマ）
 - ③ 喀痰吸引
 - ④ インスリン注射（血糖コントロールが良好なもの）
 - ⑤ 経鼻的持続陽圧呼吸法（NCPAP）
 - ⑥ 医師より1日3回のバイタルサインチェック（体温、脈拍、血圧、酸素飽和度）の指示
- ・施設での実施が可能な医療行為です。ただし、無条件ではなく、通常より医療依存度の高いケースでは、グレード3へ移行します。
 - ・入居後に必要となった場合も、病院での処理後に利用の継続が可能です。

◆グレード3

- ① 経管栄養療法（胃ろう）
 - ② 在宅酸素療法
 - ③ 脱水等に対する一時的点滴
 - ④ 利用中の事故による創傷に対する縫合処理（簡単なもの）
 - ⑤ 毎日の血糖測定とスライディング・スケールによるインスリン注射
 - ⑥ 血液透析
 - ⑦ 頻回な喀痰吸引
- ・高度な医療を必要とする為、施設内での実施は、その時点での看護師数や施設内での医療行為の総量等の影響を受ける為、条件付きで可能です。
 - ・利用者がこの医療行為が必要となった場合は、個々のケースで対応します。

◆グレード4

- ① 自己腹膜還流
 - ② 中心静脈栄養
 - ③ 悪性腫瘍患者への科学療法
 - ④ 気管切開
 - ⑤ 結核排菌者への治療
- ・高度な医療行為が必要なため、施設での実施は原則的に不可。
 - ・利用者が入居後、必要となった場合は適切な病院へ転院させ、この医療行為を必要とする限りは施設へ再入居することはできません。

(3) 相談係

施設の総合窓口として、ご利用者やご家族はもちろん、地域、各介護保険事業者、行政等からの問い合わせ等にワンストップで対応することを目的に各相談業務を行っている。施設の顔として前線に立って役割を果たした。

◎入退所業務

- ・入所、退所状況…年間入所者 25 名、年間退所者 22 名
- ・年間稼働率………ユニット型 89.6% 従来型 92.2%
- ・年間平均稼働率…90.3%
- ・退所に際しては、ご利用者の状態把握と合わせてご家族の意向を最大限尊重し、課題を一つ一つクリアしながら相談と調整を行った。

◎ケアマネジメント業務

- ・施設サービス計画書の作成については、年間を通して計画的に作成及び更新を図るため、年間スケジュールを作成し行っている。
- ・昨年度同様、ケアプラン会議については新型コロナウイルス感染症を鑑みご家族様を交えた会議については自粛した。

◎利用者ニーズの把握と情報開示（利用者懇談会の主催）

- ・2022年 7月8日（参加者 31名）
- ・幅広くご意見を伺うために、番街職員より事前の意見聞き取りを行った。またご利用者に主体性を持って参加いただきたいという考えから、懇談会会場では7月に水ようかんをお供にお茶の提供を行い、和やかな雰囲気に参加いただける環境とした。12月にも第2回目の開催を予定していたが新型コロナウイルス感染症対策の為、開催を見合わせた。

◎家族のニーズ把握と情報開示（家族懇談会の主催）

- ・今年度も新型コロナウイルス感染症対策の観点より、ご家族との懇談会は開催を見合わせた。また、面会等を制限していることもあり、利用者の近況については、写真付きの報告書を作成し、毎月の請求書発送時に同封して家族や代理人へ送付した。

◎介護保険関係申請代行業務

- ・要介護認定や各種介護保険関係の申請代行、各種手続きの補助を行った。介護保険、医療の各種認定証はそれぞれ更新申請時期が異なるため、有効期限を把握し、必要な手続きが速やかに行われるよう努めた。

◎その他

- ・よいどころやクラブ活動、年間行事に対応した。

<利用者状況>

(2023年3月31日現在)

①年齢

最高年齢	100	男性	93
		女性	100

最低年齢	62	男性	62
		女性	65

平均年齢	85.65	男性	79.50
		女性	87.16

②要介護度

平均要介護度	3.98	男性	4.00
		女性	3.97

<2022年度 入所・退所状況> 上段：ユニット型 下段：従来型

	入所			退所		
	男性	女性	計	男性	女性	計
4月	1	2	3	0	1	1
	0	1	1	0	0	0
5月	0	1	1	0	0	0
	1	0	1	0	0	0
6月	0	0	0	1	1	2
	0	0	0	0	0	0
7月	1	1	2	1	0	1
	0	1	1	3	0	3
8月	0	2	2	0	2	2
	0	0	0	0	0	0
9月	0	1	1	1	0	1
	0	1	1	0	1	1
10月	0	2	2	0	1	1
	0	0	0	0	1	1

	入所			退所		
	男性	女性	計	男性	女性	計
11月	0	1	1	0	1	1
	0	1	1	0	0	0
12月	0	1	1	0	1	1
	0	0	0	1	0	1
1月	1	0	1	1	0	1
	0	0	0	0	0	0
2月	2	2	4	0	3	3
	0	2	2	1	1	2
3月	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
合計	5	13	18	4	10	14
	1	6	7	5	3	8
総合計	6	19	25	9	13	22

・入所者数 25名（男性：6名 女性：19名）

・退所者数 22名（男性：9名 女性：13名）

(4) 栄養係

クックチル方式による安定した食事提供に加え、ご利用者の嗜好も極力取り入れ、満足して頂けるようなお食事の提供に努めている。

職員も安定し、行事食については準備や段取りに課題は残ったが、ご利用者に喜んでいただける食事が提供でき、後半からは楽しみにされている「よいどころ」も定期開催することができた。

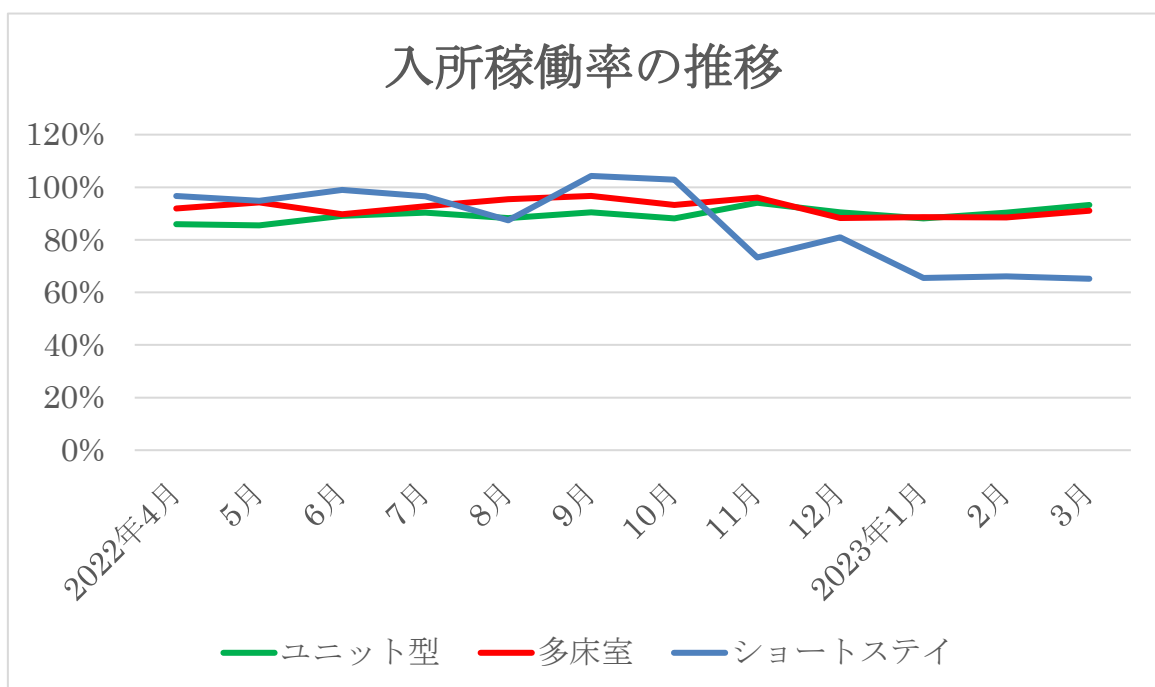
14. 短期入所生活介護サービス

ショートステイ事業に関してはリピーターの獲得により9月、10月には利用稼働率100%となり安定的な稼働率であったが、新型コロナウイルスによる影響にて下半期より体調不良による利用キャンセルやコロナ対策下のもと利用の制限などを行い、稼働率は減少した。これも「感染症を持ち込まない」を合言葉に、利用前の生活状況、体温体調確認に加え、新規利用や利用期間が開いている方にはPCR検査受検を昨年度以上に敏感になりながら徹底したことである。なお、今年度の平均稼働率は86.10%であった。

レジデンシャル百合ヶ丘 利用稼働率

集計期間:2022年4月~2023年3月

月	ユニット型	従来型	ショートステイ
4月	86.00%	91.90%	96.70%
5月	85.50%	94.20%	94.80%
6月	89.10%	89.70%	99.00%
7月	90.30%	92.80%	96.50%
8月	88.30%	95.50%	87.40%
9月	90.50%	96.70%	104.30%
10月	88.10%	93.30%	102.90%
11月	94.10%	96.10%	73.30%
12月	90.40%	88.30%	81.00%
1月	88.20%	88.60%	65.50%
2月	90.30%	88.50%	66.10%
3月	93.30%	91.10%	65.20%



15. 2022年度活動一覧 (2022.4.1～2023.3.31)

事業月日		内容	分類					備考
			行事等	研修	見学 取材	人事	その他	
月	日							
4	18	職員健康診断					○	
	23	開設記念感謝の集い	○					昼食時: 開設記念弁当
	25	研修 「ポジショニング・ボディメカニクス」		○				参加者 20名 講師: 山崎係長
5	12～21	ケアパレット講習会 計14回		○				講師: 山崎係長、鈴木主任、 石間主任
	13～20	虎の穴大作戦 計5回		○				参加者 5名 新入職員研修
	15	西塔の越自治会					○	
	26	法人理事会					○	レジデンシャル常盤台にて
6	8	理事長講話		○				参加者 15名 講師: 佐原理事長
	10 24	研修 「感染症・食中毒予防対策 標準予防策とその実践」		○				参加者 10日 34名 24日 53名 講師: 高橋顧問
	21	法人評議員会					○	レジデンシャル常盤台にて
7	1	しそジュース作り	○					
	7	参議院議員選挙不在者投票					○	
	8	ご利用者の皆様との懇談会	○					
	10	サマーバーゲンinマルシェ	○					
	11	研修 「口腔ケア研修」		○				参加者 36名 外部講師: 治田悠介氏・本間久恵氏
	13	そうめん流し	○					
	14・21 26	利用者新型コロナワクチン予防接種①					○	
	19・21 25・28	研修 「ケアパレットの操作説明その①」		○				参加者 計38名 講師: 常盤台 高橋介護課長
	19 28	研修 認知症研修「しわを観る」		○				参加者 19日 26名 28日 14名 映画鑑賞
	24	西塔之越自治会総会					○	
	28	日本語講座 11/10まで		○				参加者 2名 外部講師: 佐藤祥子氏

事業月日		内 容	分類					備 考
			行事等	研修	見学 取材	人事	その他	
月	日							
8	16	スキルアップ研修 「介護福祉士受験対策講座」		○				参加者 8名 講師:高橋統括施設長
	19	研修 「事故発生防止 服薬について」		○				参加者 25名 講師:高橋統括施設長
	25	実務者研修 (外部 11/24まで)		○				参加者 4名 ウィルオブワーク
	26	喀痰吸引等研修(外部 11/30まで)		○				参加者 2名 コミュニケーションプラス
	26	防災訓練					○	
	31	ピアガーデン	○					
9	16	敬老祝賀の集い 会食の部	○					
	19	敬老祝賀の集い 式典の部	○					
	23	スキルアップ研修 「介護福祉士受験対策講座」		○				参加者 9名 講師:高橋統括施設長
	25	おはぎ作り	○					
	26 29	研修 「褥瘡発生防止研修」		○				参加者 26日 25名 29日 16名 講師:外池施設長
	30	研修 認知症研修「しわを観る」		○				参加者 29名 映画鑑賞
10	3	管理職研修		○				
	26	秋の大運動会	○					
	27	リモートじゃんけん大会					○	
	27	日本語講座		○				参加者 2名 外部講師:佐藤祥子氏
	28	スキルアップ研修 「介護福祉士受験対策講座」						参加者 8名 講師:高橋統括施設長
	30	西塔之越自治会役員会					○	参加者 25名
11	7	夜勤者健康診断					○	
	11	川崎市実地指導					○	

事業月日		内 容	分類					備 考
			行事等	研修	見学 取材	人事	その他	
月	日							
11	11.18 23.25	職員インフルエンザ予防接種					○	
	15 22	利用者インフルエンザ予防接種					○	
12	23	クリスマスバイキング	○					
	23	スキルアップ研修 「介護福祉士受験対策講座」						参加者 5名 講師: 高橋統括施設長
	26	お餅つき	○					
	29	仕事納め					○	
1	1	元旦お祝い膳	○					
	5.10 12.17	利用者・職員 新型コロナワクチン予防接種					○	
	7	新年祝賀の集い	○					
	15 17	ステップアップ研修		○				参加者 15日 5名 17日 7名 講師: 山崎介護係長
	17 20	研修 「季節感染症とノロウイルス感染吐物処 理法について」		○				参加者 17日 28名 20日 37名 講師: 高橋顧問
	22	ニューイヤーコンサート	○					
	26	利用者健康診断					○	
	27	スキルアップ研修 「介護福祉士受験対策講座」		○				参加者 6名 講師: 高橋統括施設長
2	3	節分豆まき	○					
	6.7 8.9	鍋の日					○	
	13 16	研修 「看取りケア」		○				参加者 13日 31名 16日 13名 講師: 高橋統括施設長
	17	ステップアップ研修		○				参加者 4名 講師: 山崎介護係長
3	8 17	研修 権利擁護「あなたならどうする」		○				参加者 8日 46名 17日 25名 講師: 外池施設長
	19	西塔の越自治会役員会					○	
	23	お花見弁当					○	
	24	法人理事会					○	
	28	研修 労働安全衛生委員会「生活習慣病と肥 満～医師が教える効果的なダイエット」		○				参加者 34名 講師: 産業医 初谷守朗先生
	28.29 30	お花見	○					
	30	研修 排泄「おむつの当て方の基本」					○	参加者 25名 講師: リフトワークコーポレーション

16. 各部署・委員会等からの活動報告

2021年度 委員会・クラブ 構成委員会名簿		活動内容	開催月	開催日	時間	構成委員会(◎:委員長、○:副委員長)								SV				
1	権利擁護委員会	身体拘束防止、人権侵害についての検証・改善への取組。	毎月	第一月	16:30~	石附副主任 鈴木副主任	◎長井副主任 大崎	◎長井副主任 小林(由)	久保田	久保田	小林(由)	久保田	久保田	久保田	久保田	久保田	久保田	SV 施設長
2	事故発生防止委員会	事故についての検証、再発防止策の検討協議。	毎月	第一金	16:30~	鈴木主任	◎大城	大矢	菅井	菅井	○大金主任	菅井	菅井	菅井	菅井	菅井	菅井	佐藤課長
3	感染症・食中毒予防対策委員会	感染症及び食中毒に対する意識を高めるための研修企画、実施、対応策を協議。	毎月	第四火	16:30~	山崎係長	◎山崎副主任	山崎副主任	外池施設長	外池施設長	山崎副主任	工藤	工藤	工藤	工藤	工藤	高橋顧問	
4	褥瘡発生予防対策委員会	個々の症例に応じた予防、対応策を検討。意識を高めるための研修企画、実施。	毎月	第四月	16:30~	◎加川	◎加川	竹原	大金主任	○大金主任	山崎副主任	○工藤	○工藤	○工藤	○工藤	○工藤	山崎係長	
5	苦情対応委員会	苦情や要望への速やかな対応と、改善のための取組。	奇数月	第二水	16:30~	板垣	浅野	石間主任	大矢	大矢	大矢	大矢	大矢	大矢	大矢	大矢	施設長	
6	広報委員会	広報誌の発行計画を立て、原稿・写真・資料の取真・整理・調査、編集を行う。	毎月	第二金	15:30~	西山	鈴木和代	長井副主任	長井副主任	長井副主任	長井副主任	長井副主任	長井副主任	長井副主任	長井副主任	長井副主任	施設長・統括施設長	
7	行事委員会	季節感溢れ楽しめる行事を計画、実施する。	毎月	第二火	16:30~	クリスアーン	○佐々木	◎長井副主任	熊澤	熊澤	熊澤	熊澤	熊澤	熊澤	熊澤	熊澤	施設長・統括施設長	
8	研修委員会	専門知識及び技術向上を目指す各種研修の企画、実施。	毎月	第三水	16:30~	◎鈴木主任	ロドリゴ	◎中里	久保田	久保田	久保田	久保田	久保田	久保田	久保田	久保田	佐藤課長	
9	労働安全衛生委員会	職員の労働に関する環境面や安全衛生を回る。	毎月	第四火	18:30~	施設長	松岡事務長	山崎係長	大橋	大橋	大橋	大橋	大橋	大橋	大橋	大橋	高橋顧問・統括施設長	
10	栄養食事ケア検討委員会	食事に関するケア及び質の向上を図るための取組を行う。	毎月	第一水	16:30~	鈴木主任	板垣	塩坂	工藤	工藤	○山崎副主任	工藤	工藤	工藤	工藤	工藤	山崎係長(佐藤)	
11	入浴ケア検討委員会	入浴に関するケア及び質の向上を図るための取組を行う。	毎月	第二木	16:30~	◎鈴木副主任	藤本	◎長井副主任	高山	高山	高山	高山	高山	高山	高山	高山	山崎係長(佐藤)	
12	排泄ケア検討委員会	排泄に関するケア及び質の向上を図るための取組を行う。	毎月	第四金	16:30~	石附副主任	及川	矢口	菅井	菅井	山崎副主任	菅井	菅井	菅井	菅井	菅井	山崎係長(佐藤)	
13	業務改善プロジェクト	業務内容の改善点について協議を行う。	毎月			鈴木和代											山崎係長(佐藤)	
13	民謡クラブ	香蓮会の大塚先生による民謡教室	毎月	第二木 第四月	14:00~	施設長	山中	西山	浦山	浦山	浦山	浦山	浦山	浦山	浦山	浦山	施設長	
14	ミュージックピアッツァ	玉本先生による音楽療法	毎月	第二火 第四水	13:45~	山中	廣野	座間									施設長	
15	マルシェのど自慢	カラオケのど自慢大会	毎月	第一水 第三水	14:00~	山中	大橋	浦山									施設長	
16	よいどころマルシェ	居酒屋	毎月	不定期	16:00~	施設長	殿江	浦山	大金主任	大金主任	大金主任	大金主任	大金主任	大金主任	大金主任	大金主任	統括施設長	
17	書の会	殿江先生による書道教室	毎月	第一月 第三月	14:00~	施設長	大金主任	熊澤	浦山	浦山	浦山	浦山	浦山	浦山	浦山	浦山	佐藤課長	
	Let'sボッチャ	殿江監督によるNEWアクトビティ	毎月	第一金	14:00~													
18	Studio アスレ	専任講師によるヨガ教室	毎月	第二金 第四木	14:00~	大金主任	浦山										浦山	
19	エイト会議	ケアエイトが出席する全体会議	3ヶ月に1回	第三火	10:00~												施設長	
	職員会議	職員全員が出席する会議	毎月	第四火	10:00~												施設長・統括施設長	
20	拡大管理職会議	副主任以上が出席する会議	毎月	第三金	15:45~												施設長	
21	管理職会議	主任以上が出席する運営会議	毎月	第一火	15:00~												施設長	

レジデンシャル百ヶヶ丘

事業報告書

部署名称	介護係 2番街		
報告書作成日	2023年3月31日	責任者	鈴木 貴之
所属職員	介護勤務表参照		
報告期間	2022年4月1日	～	2023年3月31日 12ヶ月間
<p><業務内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の個別計画書に沿った個別援助サービスの提供。 ・ご利用者の日常生活をアセスメント、評価し個別計画書の見直し及び作成。 ・ご利用者の生活必要物品の補充、管理、並びに居室の環境整備。 ・チューター制度による新入職員への指導、育成。 ・専門的知識及び介護技術の研鑽。 ・ほのぼののシステムの導入による記録のデジタル化。 ・特定技能実習生の受け入れ、指導及び育成。 <p><年度当初の課題></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ケアの標準化とサービスの質の向上。 2. リーダーを担う職員の育成と報連相の徹底。 3. 個別計画書の作成と利用者担当の責務。 4. 新人職員の育成及び指導者の育成。 <p><取り組みと成果></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ケアの標準化・統一されたケア、ケアサービスの質向上 今年度も昨年に引き続き技能実習生を受け入れた。言葉の壁という面では伝えたことが十分に伝わっていないという事がある為、指導方法に関しては今後も工夫が必要。それでも OJT を通じて先輩職員からの指導をキチンと受け止め知識を身に着け、サービスの提供をする事が出来たと感じる。また、外国籍職員のフットワークの良さや柔らかい物腰で対応を行う姿は既存職員への刺激となり、相乗効果があったと思う。ケア統一化の為、ケア理念である基本のリスペクトケアをより実践できるように指導を行った。 2. リーダーを担う職員の育成と報告・連絡・相談の徹底 今年度ではリーダーの育成に関しては十分とまではいかないが、担い手を増やすことが出来たと感じた。常勤、非常勤問わずその人の持つスキルや人間性、社会性を見極め‘この人なら任せられる’と思った人に声をかけリーダー業務を担うようにした。報連相に関してはシフト制という観点から途切れの無い情報共有を心掛け、申し送り事項に関しても引継ぎを意識して実施した。 また、他職種連携に関して看護の責任者が年度途中より不在の中、看護係はお互いに支え合い 			

業務に滞りがないように満身していた。情報共有に関しては不足している部分があればこちらから歩み寄り確認を取り、情報漏れがないように努力できいたと思う。

3. 個別計画書の作成と利用者担当の責務

不定期なミニカンファレンスは開催されていたが、ケアプラン会議の開催が滞ってしまう事が今年度も見受けられていた。

<次年度に向けて>

- ・新人職員の入職が無い中、より質の高いケアサービスの提供をする為には中堅職員のケアの再確認が必要かと思われる。定期的な研修の実施をしていき各々のスキルの再確認をし、標準化されたケアとより質の高いケアサービスの提供を目指していく。
育成に関しては OJT 及びチューター制度を通じて、個人の成長に沿った育成方法を引き続き実施していく。
- ・他職種が連携し情報を共有していき、一利用者に寄り添ったケアサービスを徹底していく。
- ・利用者担当制度をしっかりと把握・認識して頂く為に、個別計画書の作成に関する研修の開催とマニュアルの作成を実施していきたい。
- ・ご利用者が安心して毎日を過ごして頂けるように、リスペクトケアを意識したケアを次年度も取り組んでいきたいと考える。

以上。

事業報告書

部署名称	介護係 3番街		
報告書作成日	2023年3月15日	責任者	山崎 諭憲
所属職員	介護勤務表参照		
報告期間	2022年4月1日	～	2023年3月31日 12ヶ月間
<p><業務内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の個別計画書に沿った個別援助サービスの提供。 ・ご利用者の日常生活をアセスメント、援助の実施、評価に伴う個別計画書の見直し、作成。 ・ご利用者の生活必要物品の補充、管理、並びに居室の環境整備。 ・職員の勤務管理及びマネジメント、チューター制度による新入職員への指導、育成。 ・ほのぼののシステムの導入による記録のデジタル化 ・特定技能実習生の受け入れ、指導及び育成。 <p><年度当初の課題></p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 介護スキルの向上とケアの標準化。 2, 情報の共有と報連相の徹底。 3, 利用者担当の役割と理解。 4, 外国籍職員に対する指導方法の確立。 <p><取り組みと成果></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 介護スキルの向上とケアの標準化 一定の介護スキルの向上としては当たり前のことが当たり前に出来るようにする為の一年だったと思う。ラジオ体操、口腔ケア、寝衣への更衣などの徹底を施設全体で取り組み、当たり前に出来ることで介護スキル向上の為の土台が出来たのではないかと考える。 まだまだ、個々のケアスキルとしてはレベルの低い状態である。 2. 情報の共有と報告・連絡・相談の徹底 今年度は2022年9月より、ほのぼのシステム導入による記録のデジタル化を行った。 導入当初はケアパレットを使用しての記録の記入に各職員戸惑いがあったが回数を重ねるごとに個々で記録物の記入方法についての課題を挙げ、改善に取り組み現在の形となった。 情報共有ツールとして特記事項を確認する項目などもあるが、現在は試用段階であり活用しききれていない状態である。 年度末に介護職員退勤チェック表を導入し情報を自分自身で他職員へ伝えることや記入漏れがないか確認する項目を設け報連相の徹底を意識づけている。 			

3. 利用者担当の役割と理解

利用者担当としての役割については諸会議の場でも再三伝え、指導しているが役割として自覚している職員は少なく、職員個々の役割を発揮されていない。責任感の無さ、興味の無さが招いているように思われる為、今後はどのようにその責任を個々の職員に自覚させていくのが課題と考える。

4. 外国籍職員に対する指導方法の確立

特定技能実習生の受け入れを今年度も行い、虎の穴研修を含め、OJTにおいても指導を重ねた。文化の違いや言葉の壁はどうしてもみられることがあるが、それでも外国籍職員特有の柔らかい物腰がご利用者にとっては安心できるものであり、居心地よく感じていただけるようにも見受けられた。リスペクトケアの考え方は浸透しつつあるがケアの実践となると言葉が上手く理解できずに自己判断に至ることも見受けられる。

<次年度に向けて>

- ・ケアスキルの向上に関しては、昨年度は土台作りの為の一年と考え、来年度よりそのスキルを飛躍的にアップさせていきたい。当たり前のことを当たり前に行えるようになったからこそ専門的知識、技術を吸収させ専門職としてのスキルアップを図る。意図的に業務を職員へ割り振り、個々の意欲を削らないようスキルベースをアップさせる。フロア単体で考えず、全フロアにおけるバランスを見ながらケアの標準化を目標としたい。
 - ・記録システムの活用に関しては昨年度まとまりきれなかった為、引き続きの課題として情報共有ツールとしての価値を見出していく。また、チェック表類の記入漏れがないような個々の職員の意識改革にも役立てていきたいと考える。
 - ・利用者担当のみならず、ご利用者への関わり方を意図的に増やす時間を設ける。限られた業務時間の中でコミュニケーションの取り方一つ一つを考えさせるような業務を構築しご利用者に興味を持ってもらうような仕掛けを考えて実践していきたいと考える。
- 外国籍職員も同様に、介護過程の展開を実践できるよう来年度はアセスメント、プラン作成にも力を入れていく。

以上

事業報告書

部署名称	介護係 4番街		
報告書作成日	2023年3月25日	責任者	長井真希子
所属職員	介護勤務表参照		
報告期間	2022年4月1日	～	2023年3月31日 12ヶ月間
<p><業務内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者の個別計画書に沿った個別援助サービスの提供。 ・ご利用者の日常生活をアセスメント、援助の実施、評価に伴う個別計画書の見直し、作成。 ・ご利用者の生活必要物品の補充、管理、並びに居室の環境整備。 ・職員の勤務管理及びマネジメント、チューター制度による新入職員への指導、育成。 ・ほのぼののシステムの導入による記録のデジタル化 ・特定技能実習生の受け入れ、指導及び育成。 ・ショートステイの受け入れ、短期介護計画書に沿ったケアサービスの提供。 <p><年度当初の課題></p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 介護スキルの向上とケアの標準化。 2, 情報の共有と報連相の徹底。 3, 利用者担当の役割と理解。 4, ショートステイの稼働率上昇。 <p><取り組みと成果></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 介護スキルの向上とケアの標準化 応援職員が多い中での安定したケアを提供するには、ケアの標準化が重要であり、既存の職員が状況提供やフォローや指導を行うことで、スキルの差を埋められた。研修や会議等に皆が参加することで、考え方や方向性が統一されたが、経験豊富な介護職員も従来のやり方に捉われず、研修を通して新しい技術や考え方を身につける必要があると考える。また、技能実習生への指導を行ってきたが思う様に指導が進まず、残念ながら離職されてしまったが、皆で指導方法を検討しながらサポートする意識が向上した。 2. 情報の共有と報告・連絡・相談の徹底 2022年9月より、ほのぼののシステム導入による記録を開始。回数を重ねることで基本的な記録方法は出来るようにはなったが、記録の抜けが目立ち、細かな様子の記録が薄いので今後も改善していく必要がある。また、情報収集したデータをケアに生かし切れていないので、どのように活用していくか、今後検討する必要がある。職員皆で会議や委員会活動、業務改善プロジェクト会議等に参加したことにより、日々の業務の報連相の重要性に気づき、しっかり行う職員が増えた。また、介護職員退勤チェック表を導入したことで1日の業務を各自見 			

直す習慣が付き、情報共有と報連相の意識が以前より向上した。

3. 利用者担当の役割と理解

会議や申し送りにて、利用者担当の役割について伝えており、以前より居室環境整備や物品の受注は実行されている。しかし、常日ごろからご利用者の変化を理解していなければならないという自覚が足りないので、ケアプランを計画通り進めて、情報収集の意識付けをしていく。

4. ショートステイの稼働率上昇

初回利用の感染症対策も確立しており、クラスターも無く外部の受け入れを継続出来ている。リピート利用の方も増えた印象だが、今後も短期入所生活介護計画書に沿ったケアにて、信頼していただき、継続してショートステイをご利用して頂けるように、職員一丸となりリスクケアを努めたい。イベントに積極的に参加して頂き、この施設の長所や特徴を知っていただき、リピート利用に繋げていきたい。

<次年度に向けて>

- ・介護スキルの向上に関しては、実務者研修を終え介護福祉士の資格保有者も増えたので、新人教育をしながら、今後は専門的な知識を身につけ、全体的にスキルアップを図る。
- ・業務に追われるだけでなく、情報共有をしっかりと行い、報連相しやすい環境作る。
- ・安全にご利用して頂くために、現在の職員 2 名体制の余裕のない業務担当を改善し、今よりご利用者とコミュニケーションの時間を増やし、ニーズを把握することで魅力ある施設運営に繋げたい。

以上

事業報告書

部署名称	看護係		
報告書作成日	2023年4月19日	責任者	小林由和
所属職員	小林由和 増井太一 大矢美奈子 栗原文江 平山美枝子 大木真美 外山米子 小野悠希		
報告期間	2022年4月1日	～	2023年3月31日 12ヶ月間
<p><業務内容></p> <p>入居者体調管理 看護処置 内科、精神科医師による回診介助 褥瘡処置、栄養状態把握 病院受診時の連絡、調整、家族様状況報告 入退院時の病院連絡、情報提供、内服確認 緊急時対応、感染予防対策、看護計画作成、コロナワクチン、インフルエンザワクチン接種調整、 接種介助</p> <p><今年度の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダー教育を行い、現在の業務の見直し改善を図る。 ・予防接種対応への迅速化及び川崎市健康福祉局、提携病院との連携。 ・感染症、疾患、年齢による身体変化及び留意し異常の早期発見に努める。 ・ご家族様との情報共有、連絡を密に行う。 <p><取り組みと成果></p> <p>○ リーダー教育、業務改善</p> <p>2022年9月より主任の休職以降、長期在職の職員が不在の中で、課長・施設長と情報共有・報告を行いながら常勤看護師2名よりリーダーを務めてきた。その中で休日の都合上、連日してお互いの勤務が被らない場合がある。そうした場合には看護師間での情報共有として別途用紙にまとめてお互いが情報を把握できるように引継ぎを行っている。また1人の看護師あたりに過度な業務や偏りが無いよう業務の分担化を行った。このことから、昨年度までのリーダー業務の過度な業務量は緩和できていると言える。</p> <p>業務改善については、ご利用者のカルテの見直しを行い整理の実施。見直しを行うことで必要な情報の把握を迅速に行うことが出来るようになった。昨年度まで、残数の管理が出来ていなかった処方薬（軟膏・外用薬）の整理、内服薬の保管方法の見直しを実施し、現在軟膏・外用薬の数量・有効期限が適切なものが医務室内に保管されている。</p> <p>○ 予防接種対応への迅速化及び川崎市健康福祉局、提携病院との連携</p> <p>施設長を主軸として、日々変化する情勢の把握を行い、ご利用者様の予防接種の迅速化に努めた。ワクチンの取り扱い、予防接種者の人数の情報共有を行い提携病院との連携、予防接種に向けての準備は滞りなく行うことが出来た。また、川崎市健康福祉局への報告も適切に行った。</p>			

- 感染症、疾患、年齢による身体変化及び留意し異常の早期発見に努める。
新型コロナウイルス感染症の流行により当施設でも感染者の対応を行うこととなった。
新型コロナウイルスの流行以降、適宜ご利用者及び職員に PCR 検査を受けていただき、
感染の早期発見に努め、感染者が発生した際には、ゾーニング・感染予防対策を徹底し感染を
拡げない対策を職員全体として取り組むことが出来た。
疾患、年齢による身体変化に留意し異常の早期発見については、ご利用者に何らかの症状が
あった際には、看護師間・課長・施設長・往診医と相談を密に取りながらその時に必要な対応
を継続して行っている。
- ご家族との情報共有、連絡を密に行う。
ご利用者の体調の変化があった際は、ご家族へ情報提供を行い、身体の不調から改善まで継
続して連絡をとることで少しでもご家族の不安を解消できるよう対応を行った。ご家族から、
ご利用者の容態や普段の様子を聞かれることや面会時の些細な変化などもご報告していただ
ける事が増えた。このことから、ご家族にとって施設との信頼関係の構築に繋がっていると
言える。

<次年度に向けて>

- ・今年度に引き続き、感染症、疾患、年齢による身体変化及び留意し異常の早期発見に努める。
- ・加齢や入退院による ADL の低下や以前の状態から変化がみられつつあるご利用者の今後の方
向性を医師の見解の元、他職種協同で連携しながら、ご利用者だけでなくご家族に寄り添え
る看護を行う。

以上

事業報告書

部署名称	看護係 機能訓練		
報告書作成日	2023年4月26日	責任者	清水 麻子
所属職員	アクティビティエイド：浦山 真理子、機能訓練指導員：清水 麻子		
報告期間	2022年4月1日	～	2023年3月31日 12ヶ月間
<p><業務内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 機能訓練計画書の作成。 ご利用者の機能訓練の実施。 (ラジオ体操、関節可動域訓練、歩行訓練、生活動作訓練、マッサージ等) ご利用者の良肢位保持の為のポジショニング評価。 業務日誌の作成、ほのぼのNEXTの入力業務。 スネーククッションの作成等、座面クッションの管理、車椅子のナパリングによる在庫管理。 クラブ活動の対応。(民謡クラブ、ミュージックピアッツァ、のど自慢大会、ボッチャ、書の会、よいどころ) <p><昨年度の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 機能訓練計画書の作成手順の確立。 クッション類に関する管理方法の必要。 拘縮、可動域制限があるご利用者の関節拘縮緩和。 <p><取り組みと成果></p> <p>① 機能訓練計画書の作成手順の確立。 計画書作成始めはエクセルを活用し作成していたが、LIFEに移行することに伴い新たにベースを作成し取り組みを行った。計画書の内容や文言については適切な表現や目標設定に至らないことがあるため、今現在も改善に取り組んでいる。 また、多職種との職員と連携を図る為、上長のSVをもとにバーセルインデックス（生活機能チェックシート）を取り入れ、利用者担当CWに協力を依頼し作成。他職種で連携を図りながら、ご利用者お一人お一人のADLを確認し計画書に反映させている。</p> <p>② クッション類に関する管理方法の必要。 洗濯した車椅子座面クッションが所在不明になることもあり、アクティビティエイドと共に施設用座面クッションの個数、種類の調査を行いナンパリングによる管理を行った。 それに伴い座面クッションの管理がスムーズになり、CWも機能訓練室で確認を行う機会が増え連携が図りやすくなり、個人所持品や施設備品の取り扱いについて向上に繋がったように感じた。</p>			

③ 拘縮、関節可動域制限があるご利用者の関節拘縮緩和。

関節拘縮の強いご利用者や、可動域制限があるご利用者へは週 2～3 回ほど訪室回数を増やし訓練することによって若干の拘縮の改善が見られた。ポジショニングについては、良肢位保持、維持の為、評価後に写真を撮り居室に設置し全職員へポジショニングの方法として周知を図った。

④ その他。

クラブ活動に関しては、現行のクラブ活動の他に曜日指定などはせずにご利用者が主体的に「やろう！」と思いついた時に集まって行われる、『麻雀』『将棋』が一番街マルシェで開催され麻雀や将棋がお好きなご利用者が集まり熱心に取り組んでおられた。

フロアにおいては生演奏、歌でお誕生日会を盛り上げる活動も行っている。

<次年度に向けて>

- 1, 機能訓練計画書をもとに、目標到達に向け個々のご利用者への訓練スケジュールを確立する。
- 2, 機能訓練計画書をコンスタントに作成、閲覧、郵送が出来るよう、自分自身の業務の見直しを行い、滞ることなく実施する。
- 3, 誤嚥性肺炎の予防、褥瘡予防、良肢位保持のためのポジショニング評価を引き続き行えるよう多職種と連携を深め、情報共有を図るツールを確立する。

以上

事業報告書

部署名称	相談係		
報告書作成日	2023年4月21日	責任者	大金 美保
所属職員	大金美保（主任）・座間知子（相談事務）		
報告期間	2022年4月1日	～	2023年3月31日 12ヶ月間
<p><業務内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入退所に関する業務。 ・給付管理及び利用請求に関する業務 ・相談に関わる業務。（特養・ショートステイ） ・入所検討者等の見学・面談の対応。 ・ケアマネジメント関係…ご家族・ご本人を交えたケアプラン会議の開催。 ・預り金の管理、利用料金の請求・管理業務。 ・介護保険申請業務の補助…介護保険更新時、区分変更時にご家族へ申請補助を行い、認定調査の立ち合いを行った。 ・年間行事のサポート業務。 <p><年度当初の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間稼働率 95%を目標とし、入所居室に関しては満床状態の維持を目指す。 <p><取り組みと成果></p> <p>1、利用者ニーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者懇談会の開催… 2022年7月8日（31名出席） 職員紹介、意見等質疑応答 お茶と水ようかんをお出しし、和やかな雰囲気での懇談を行った。 ・御家族の皆様との懇談会 例年年度内 2 回開催予定であるが、新型コロナウイルス感染症対策の為、御家族様との懇談会は中止とした。 			

2、稼働率について

<入居・ショートステイ>

月	ユニット型	従来型	入居稼働率	ショートステイ	総稼働率
2022年4月	86.0%	91.9%	88.8%	96.7%	89.51%
5月	85.5%	94.2%	89.6%	94.8%	90.00%
6月	89.1%	89.7%	89.4%	99.0%	90.20%
7月	90.3%	92.8%	91.5%	96.5%	91.90%
8月	88.3%	95.5%	91.7%	87.4%	91.25%
9月	90.5%	96.7%	93.4%	104.3%	94.48%
10月	88.1%	93.3%	90.5%	102.9%	91.71%
11月	94.1%	96.1%	95.0%	73.3%	92.90%
12月	90.4%	88.3%	89.4%	81.0%	88.60%
2023年1月	88.2%	88.6%	88.4%	65.5%	86.20%
2月	90.3%	88.5%	89.4%	66.1%	87.20%
3月	93.3%	91.1%	92.2%	65.2%	83.2%

・年間平均稼働率

ユニット型：89.6% 従来型：92.2% ショートステイ：86.1%

全平均稼働率：90.3%

・利用者状況（2022年3月31日現在）

最高年齢：100歳 男性：93歳 女性：100歳

最低年齢：62歳 男性：62歳 女性：65歳

平均年齢：85.70歳 男性：79.61歳 女性：87.21歳

平均介護度：3.98 男性：4.00 女性：3.97

・入所・退所状況（上段：ユニット型 下段：従来型）

	入 所			退 所		
	男性	女性	計	男性	女性	計
4月	1	2	3	0	1	1
	0	1	1	0	0	0
5月	0	1	1	0	0	0
	1	0	1	0	0	0
6月	0	0	0	1	1	2
	0	0	0	0	0	0
7月	1	1	2	1	0	1
	0	1	1	3	0	3
8月	0	2	2	0	2	2
	0	0	0	0	0	0

9月	0	1	1	1	0	1
	0	1	1	0	1	1
10月	0	2	2	0	1	1
	0	0	0	0	1	1
11月	0	0	0	0	1	1
	0	2	2	0	0	0
12月	0	1	1	0	1	1
	0	0	0	1	0	1
1月	1	0	1	1	0	1
	0	0	0	0	0	0
2月	2	2	4	0	3	3
	0	2	2	1	1	2
3月	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
計	5	12	17	4	10	14
	1	7	8	5	3	8
	6	17	25	9	13	22

- ・入所者数 ユニット型：17名（男性：5名 女性：12名）
従来型 ：8名（男性：1名 女性：7名）
合 計 ：25名（男性：6名 女性：19名）
- ・退所者数 ユニット型：14名（男性：4名 女性：10名）
従来型 ：8名（男性：5名 女性：3名）
合 計 ：22名（男性：9名 女性：13名）

<入所者内訳>

- ・介護老人保健施設：2名 ・病院：4名 ・有料老人ホーム：1名
- ・小規模多機能：1名 ・在宅：12名 ・サ高住：3名 ・グループホーム：2名

<退所者内訳>

- ・入院中等で病院にて死亡された方は10名。
- ・長期入院等：12名

<2022年度総括>

- ・総稼働率 90.3%。年間稼働率 95%を年度当初の目標としていたが実現することができなかった。
- ・年間入所稼働率はユニット型 89.6%、従来型 92.2%で前年度の稼働率を下回った。
- ・ショートステイ事業については、利用ニーズが高まり、稼働が増えている。2022年9月、10月には稼働率 100%以上を達成することができた。
- ・ケアプラン会議に関して、スケジュールについて明確化し実施する事が出来る様になった。

しかし新型コロナウイルスに伴う感染症蔓延等もあり、昨年度同様、ご家族を交えての会議の開催は控えている。但し、事前にご家族へケアに対するニーズ等を伺う書式を送付し回収。ご希望を踏まえた内容も取り込み、施設内他職種にて会議を開催した。

- ・相談室業務についてはワンストップサービスを心掛け、また相談室配置換えを行いご家族とのコミュニケーションが取りやすい環境を整えた。しかし、昨年度同様に感染症対策にて面会等を制限する事となり、面会方法を予約制で対面の面会に切り替え、ご利用者の顔が直接見られお話しできると好評いただいている。

<次年度に向けて>

- ・入所居室に関しては満床状態を維持できるよう努力を行うと共に、年間稼働率 95%を目標としていく。
- ・ショートステイ事業に関しても稼働率アップにつながるよう居宅介護支援事業所と連携や短期入所利用申し込み支援システムの活用を行いながらサービスを行い、リピート利用者のニーズをつかむように努力すると共に、フロント業務としての受け入れ体制を構築し、介護職員が不安を感じないでケアに当たっていただけるよう注意を払っていく。
- ・入居等に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策に沿い、川崎市へ協力頂きながら入居前・入居時の PCR 検査の実施や、利用前の体調確認シートを用い、感染症を持ち込まない対応を行っていく。
- ・ケアプランについては、引き続きスケジュール調整等を行い、確実に会議の開催・モニタリングを行っていく。
- ・計画書について、説明不足や同意書への確認記入が遅くなってしまう事もあった為、計画書の管理についてもチェック体制を画一していく事が課題である。
- ・ニーズを把握し、それらに的確に素早く対応する体制 ~ワンストップサービス~の充実
また、ご利用者・ご家族との信頼関係構築する事にも務め、懇談会等を通して施設運営に対する取り組みの報告や成功の共有を図っていききたい。
- ・給付管理については、介護請求及び利用請求に関わる情報を正確に把握、給付管理ソフトに正確にデータ入力し、イレギュラー件数をなくしていく。

以上

事業報告書

部署名称	事務課 栄養係		
報告書作成日	2023年4月24日	責任者	小曾根 千絵
所属職員	小曾根千絵（副主任）、齋藤友紀（産休中）、山田邦彦、磯崎祐磨、大川泰志、田中春美、横井美華子、中津川幸恵、藤松純子、真鍋玲、細谷奈名子、宮幸寛子、白石照雄、真鍋秀樹		
報告期間	2022年4月1日	～	2023年3月31日 12ヶ月間
<p><業務内容></p> <p>給食管理業務：・ご利用者への食事提供 ・食事の上膳、下膳、食器洗浄 ・納品業者への食材の発注、検品、在庫管理 ・食数管理 ・行事食の実施 ・職員食の提供</p> <p>栄養管理業務：・ご利用者の栄養スクリーニング、アセスメントの実施、それに沿った栄養ケア計画の作成 ・栄養ケア計画に対しての定期的なモニタリングと評価 ・行事食実施の際、お楽しみの場としてのおもてなし全般の考察と実践 ・日々の食事に関連する環境の問題点の検証と改善</p> <p>その他 ・よいどころでのおつまみ等の提供</p> <p><年度当初の課題></p> <p>給食管理業務</p> <p>① 安心、安全な食事を安定して提供する。 ② 食のクオリティを向上させる。 ③ 衛生管理の徹底を継続する。 ④ 職員の雇用が安定する職場環境作り。</p> <p>栄養管理業務</p> <p>① 栄養ケアマネジメントの流れの確立。 ② 他職種と食に関する連携を深め、ご利用者の栄養ケアを充実させる。 ③ 食に対する施設方針や考え方を栄養係職員全員が共有し、一体感を持った運営により質の向上に努める。</p> <p><取り組みと成果></p> <p>給食管理業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事食において、昨年同様、レジデンシャル常盤台と協力し、応援体制をとりながら実現することができた。 ・今年度から、居酒屋よいどころで、おつまみ等の提供を開始し新たにご利用者と触れ合うこと 			

ができた。

- ・物価高騰につき、食材費の増加が課題となる為、吟味しながら仕入れをし、在庫管理をきちんとするように努めた。

栄養管理業務

① 栄養ケアマネジメント

ご利用者のことを知り、ご利用者に覚えていただくためにミールラウンドを頻繁に行い、ご利用者の状態を肌で感じるように努めた。ADL の低下に伴い、食事量も低下していく中で低栄養の改善に努めたが、なかなか十分な効果が得られず反省している。

② 他職種の方との連携

他職種の方からの情報収集やケアプラン会議での意見拝聴を日々の栄養ケアマネジメントに活かしていくことを行った。また、栄養食事ケア検討委員会で体重の推移を確認し、支援方法の変更や改善に繋がったことは今後も続けていきたい。

③ 厨房業務、職員との共有、一体化

ご利用者がしっかり食事を摂取していただくためにという意味で、個別の食提供方法やイレギュラー対応を行い、それを厨房職員に書面だけでなく口頭で伝えることにより、大きなミスなく行えた。

<次年度に向けて>

- ・栄養ケアマネジメントにおいては、ミールラウンド等ご利用者に多く接することで、お一人お一人の食の課題を見極め、問題点を見つけ対応していく。他職種と密に連携し、事務作業に偏ることなく、効果的な計画策定を行い実践していく。
- ・ご利用者が楽しみにされる行事食について、準備を怠ることなく、役割分担も明確にすることで円滑に進めていく。
- ・日々のお食事を楽しく召し上がっていただくため、まずは安全なお食事を提供することが第一である。
- ・課題をクリアしながら、職員同士の士気を高め、業務を行なっていく。

以上

事業報告書

部署名称	事務課		
報告書作成日	2022年4月26日	責任者	松岡 敬樹
所属職員	松岡敬樹、山中辰、大橋紀穂、熊澤麻衣子、高橋邦彦		
報告期間	2022年4月1日	～	2023年3月31日 12ヶ月間
<p><業務内容></p> <p>人事・労務：職員採用活動、入退職手続き、勤怠管理、給与計算、健康診断・ストレスチェック実施 経理：給与支払、経費支払 施設管理：設備管理・修理、物品在庫管理・購入 行政対応：各種報告・届出、助成金・補助金申請</p> <p><年度当初の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用の安定・・・必要職種の適切な採用、必要人材の長期雇用確保 ・収益予算の達成・・・収支管理徹底、コスト(人件費・物件費)削減 ・施設管理・・・利用者の快適な生活の場提供、職員の職場環境改善 <p><取り組みと成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な施設サービスの提供に向け、コストを抑えかつ有効な採用媒体に絞り込んだ採用活動を行ったこと ・外国人雇用により必要な職員数は確保でき、コスト負担の高い派遣契約を6月に解消できた ・10月発生した看護師の欠員解消には苦戦し、一時的に派遣受け入れせざるを得なかった。 ・永年の懸案であった介護職員については必要な職員数は維持できており今後は自然減に備える。 ・借入金の返済を確実に控え、収支の安定した財務体制を目指したが、新型コロナウイルスの影響にて、長期入院者や退所者のリカバリーがタイムリーに行えず、収入予算は未達に終わった。 ・支出に関しては仕入れ業者や仕入れ数の見直しを行い、施設設備の修理・メンテナンスを自前で行うことにより圧縮できたが、水光熱費の高騰による影響は大きく大幅な利益残とはならなかった。 ・ご利用者への快適な生活環境の提供、及び職員の安定的な業務執行のために、施設の管理点検、総合維持管理点検の活用や、営繕職員による修理など工夫して実施した。 ・民間の助成金を活用し、カビ対策として対象エリアに除湿乾燥機を設置した。 <p><次年度に向けて></p> <p>施設の安定的な運営及び財務基盤の確立に向けて、以下の責務を果たす。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 雇用の安定・・・欠員発生時の迅速かつ適切な採用、的確な育成による安定的な雇用維持 ② 収支残の確保・・・収入予算の達成と、適切な支出による収支コントロールを実践 ③ 施設管理・・・利用者の快適な生活と職員の安全な労働環境の提供 <p style="text-align: right;">以上</p>			

事業報告書

部署名称	介護事業支援課 クリーンエイド		
報告書作成日	2023年4月20日	責任者	
所属職員	鈴木清美(リーダー)、北野里美、吉岡あいり、井口康雄		
報告期間	2022年4月1日	～	2023年3月31日 12ヶ月間
<p><主な通常業務></p> <p>全館の共用部と外周りの清掃・環境整備</p> <p><具体的な通常業務内容></p> <p>1. 外周り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほうき掃き ・丸テーブルと椅子 ・窓ガラス ・駐車場 <p>2. 1番街の清掃</p> <p>a) ダスター、モップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・床全般(共用廊下、管理廊下) ・マルシェ ・職員休憩室 <p>b) 拭き掃除</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玄関 ・手すり ・エレベーター ・マルシェ ・トイレの鏡周り ・ロッカーの鏡周り <p>c) トイレ掃除</p> <ul style="list-style-type: none"> ・便器清掃 ・鏡周り清掃 ・モップで床清掃 ・トイレットペーパー、ペーパータオル、 <p>d) トイレ、洗面所ドアノブなどの消毒</p> <p>e) ごみ収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1番街全般のごみ収集 <p>3. 2～4番街の清掃</p> <p>a) ダスター、モップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共有部分(居室を除く)、ケアステーション、配膳室をダスター、モップで床清掃 <p>b) 拭き掃除</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアステーション ・手すり ・エレベーター ・共用洗面台の鏡周り <p>c) トイレ掃除</p> <ul style="list-style-type: none"> ・便器清掃 ・鏡周り清掃 ・モップで床清掃 ・トイレットペーパー、ペーパータオルの補充 <p>d) トイレ、洗面所ドアノブなどの消毒</p> <p>e) ごみ収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共有部分(居室を除く)、ケアステーションのごみ収集 <p>4. その他</p> <p>a) 階段清掃</p>			

5. 通常業務以外の実務

- ・行事手伝い(敬老の日、クリスマス餅つき、節分豆まき、など)

6. 年度当初の課題

- ・正規メンバー4人に加え、2023年1月山崎俊雄さんが退職、同年3月に井口康雄さんが入職し再び4人でシフトが組めるようになり1シフト1人体制を減らすことができた。

7. 取り組みと成果

- ・(上記6項に関し) 現状の体制(4人)が維持できれば、基本となる清掃は時間内で達成できる。
- ・トイレの詰まり(紙詰まり)が特に2番街で発生したが現在は収まっている。
- ・2022年月、職員、ご利用者にコロナ陽性者発生したため、施設指示により3・4番街の清掃一部中止。同年11月2番街で利用者コロナ陽性者クラスター発生、2番街一部清掃中止となった。手で触れる箇所は現在も1日2回消毒を実施中。
- ・長期間傘立てに放置されていた多数の傘を分別処分し、まだ使えそうな傘については倉庫に収納した。

8. 次年度に向けて

- ・日々のトータルごみ廃棄量がかなり多く、事務方よりごみの減量化(*)を強く推進していただいているが、廃棄物倉庫がすぐにいっぱいになることが多い。
(*) ごみの減容化の一環としてプラスチック袋の空気抜きを実践しているが、中途半端な空気抜きとなってしまいうケースが多く見受けられる。
- ・施設も丸6年目に入りますが現状維持を保てるよう努めていきたいと思う。

以上

事業報告書

部署名称	介護事業支援課 洗濯エイド		
報告書作成日	2022年4月20日	責任者	佐藤 直明
所属職員	植田恵津子（リーダー）、吉岡明美、秦明子、佐々木悦子		
報告期間	2022年4月1日	～	2023年3月31日 12ヶ月間
<p><業務内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各番街の洗濯物の回収と前日の入浴時の着換の洗濯 ・昼食前にバンドナを届ける ・午前入浴時の着替えとクリーンルーム内の洗濯物回収 ・衣類の材質、ポケットの中、汚れの有無、名前漏れに気を付け、ほつれ等の直し ・機器・洗濯室内の清掃 ・行事使用の備品の洗濯、アイロンがけ ・備品の縫製 <p><昨年度の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・満床となりショートステイの方の入出も多くなり届け間違いのないよう作業する。 ・洗濯量が増えているので効率よく作業する。 ・機器や洗濯室の床は雑巾がけする。 ・入浴用カートの清掃と清潔を心がける。 <p><取り組みと成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショートステイ衣類についてはSS居室表を確認し不備なく届けることができている。 ・声をかけ合い、作業分担し効率よく出来ている。 ・洗濯室の衛生面は保持出来ている。 ・入浴用カートの清掃は毎日行い清潔の保持が出来ている。 <p><次年度に向けて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショートステイの方の衣類については氏名記入漏れが多く、返却に困るケースがあった為、次年度は個人の財産である衣類を無くさぬように多職種で対策を講じる必要がある。 ・介護職員使用の入浴着で補正できない部分が傷んできている為、買いなおしの検討が必要。 ・洗濯室、機器、入浴用カートの清掃、清潔に関しては引き続き意識的におこない衛生面に配慮する。 ・届け間違いを無くす為、畳む際に氏名の確認を徹底しお届けする。 <p style="text-align: right;">以上</p>			

事業報告書

部署名称	介護事業支援課 リネンエイド		
報告書作成日	2023年4月25日	責任者	山崎 佳代子
所属職員	山崎佳代子（リーダー）、一瀬あい子、西山紀美子、堀 妙 久高美加、茶村千瀬		
報告期間	2022年4月1日	～	2023年3月31日 12ヶ月間
<p><主な通常業務></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者居室ベッドのリネン交換・床清掃・洗面台清掃（各入居者1週間に1回の対応） ・新規入所者・ショートステイ入居される方のベッドメイキング・居室の清掃・環境整理。 ・リネン交換業務遂行に関する計画作成。 ・他部署との連携。 <p><昨年度の課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドキャスターロックのかけ忘れ、ゴミの取り忘れの防止。 ・清掃方法・居室入室タイミング等効率的な業務を行う。 ・チームメンバー間での引継ぎを確実に行う。 <p><取り組みと成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各居室リネン交換・清掃終了時にチームメンバー同士で声掛けし再確認を行った。 ・ご利用者一人一人に合わせた体調の変化等含め、入室タイミングに関する計画策定の際、計画表に記載しチーム全員が意見を出し、意識を統一し業務に取り組む事ができた。 ・出勤時に昨日からの連絡事項・当日の流れを確認し、情報の共有を図る事ができた。 ・新規職員が加わり指導しながら業務を遂行した。 ・今年度も施設内において新型コロナウイルス感染者が発生したが、組織的な指示を受け、清掃を行う事ができた。 <p><次年度に向けて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続きベッドキャスターロックのかけ忘れやゴミの捨て忘れ、ベッドの位置が元通りになっているか等、安全面に注意しながら業務を行う。 ・清掃方法等・入室タイミング等を含め、改善や意見を出し合いながら効率良く対応を行う。 ・報連相をしっかりと行うと共に、メンバー間での引継ぎを確実にしどの職員が対応しても一定で統一した対応が行われるように努めていく。 			

- ・感染症対策研修等で学んだ事を徹底して対応を行っていく。

以上

事業報告書

委員会名称	権利擁護委員会		
報告書作成日	2023年3月24日	委員長	長井 真希子
構成委員	小林由和（看護）、久保田伸一（介護）、斎藤朝代（介護）、 西山奈智子（介護・副主任）、長井真希子（介護・主任）		
スーパーバイザー	外池施設長		
報告期間	2022年4月1日	～	2023年3月31日 12ヶ月間
<p><目的及び課題></p> <p>ご利用者の身体拘束、虐待など権利の侵害行為をなくして、安心、安全、安楽な生活をしていただくようにする。</p> <p>ご利用者へのリスペクトケアに基づく介護の実践。</p> <p><活動日>毎月 第一月曜日 16時半～</p> <p><実施内容及び結果></p> <p>① 「言葉」についてアンケート</p> <p>前年度行った標語について、全職員対象にアンケートを行なった。80名がアンケートを提出され、標語を意識するようになり、約7割～8割の方が気づきや効果があったと回答された。普段から不適切な言葉使いをしている場面を見かけるとの声もあったが、同時にお手本になる職員も沢山いたことがわかった。</p> <p>② 不適切ケア「これってどうなの」研修</p> <p>(ア)のアンケート結果から、現場で不適切な場面があるとの回答があった。どのようにすれば不適切ケアが無くなるのか委員会で話し合いをした。外国人職員にも理解できる動画を作成し、不適切ケアの気づきやご利用者に対してのリスペクトケアについて、業種に捉われずみんなで考えられるようグループディスカッション形式の研修を行なった。71名の職員が参加される。外池施設長のスーパーバイズもあり、リスペクトケアの大切さやお互い思いやりを持ち、協力して業務が出来る環境を皆で作っていこうという啓発になった。</p> <p><次年度に向けて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・途中、委員会メンバーが2名抜けて、委員会活動が進まない時期もあったので、しっかり引き継げる体制をつくる。日々業務の中に潜んでいる虐待の芽を摘み、大きな事故にならないような環境をつくる。マンネリ化しないように、職員全員が参加したいと思える活動を企画する。 <p style="text-align: right;">以上</p>			

事業報告書

委員会名称	事故発生防止委員会		
報告書作成日	2023年4月26日	委員長	鈴木秀雄
構成委員	鈴木貴之（介護・主任）、大金美保（相談・主任）、渡邊隆介（介護） 菅井仁美（介護）、清水麻子（看護・機能訓練）、大矢美奈子（看護）		
スーパーバイザー	佐藤介護支援課長、山崎介護係長		
報告期間	2022年4月1日	～	2023年3月31日 12ヶ月間
<p><目的及び課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第一金曜日開催 ・事故やヒヤリハットの件数や把握をおこない、事故発生件数が減るように協議検討を行なう。事故報告書の内容等を職員に共有していただく。必須研修の開催、および事故報告書の件数の集計とグラフの作成。 <p><活動日></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第一金曜日 <p><実施内容及び結果></p> <ol style="list-style-type: none"> ①2022年8月に事故防止に関する研修を実施。高橋統括施設長に講師を依頼実施した。 ②事故発生件数の集計及び確認 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月起きた事故発生及びヒヤリハットの報告書を番街ごとに集計、事故内容や件数の確認をおこなった。 <p><次年度に向けて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催定例日で委員会メンバーが集まらないこと多く、毎月開催することが出来なかった。 ・委員会開催前に毎月の集計ができていなかったため今後は確実に集計をおこない、委員会の会議の中で発生件数が多い事故、重大な事故について問題提起して、会議で協議できるようにしたい。 ・今年度の研修は上期におこなったものの、下期に行なえなかったため来期は年に2回、研修を開催できるようにする。 			

事業報告書

委員会名称	感染症・食中毒予防対策委員会		
報告書作成日	2023年4月25日	委員長	山崎なみき
構成委員 スーパーバイザー	外池施設長、佐藤課長、山崎係長、山崎なみき（看護・主任）、 山森啓子（栄養）、小曾根千絵（栄養・副主任）、松岡事務長 高橋法人顧問		
報告期間	2022年4月1日	～	2023年3月31日 12ヶ月間
<p><目的及び課題></p> <p>感染症、食中毒予防の知識習得の為の研修会を企画、開催 新型コロナウイルス感染症を中心に感染予防対策、感染者発生時の対応方法周知</p> <p><活動日></p> <p>毎月第四火曜日 17:00～</p> <p><実施内容及び結果></p> <p>①感染症予防対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症を中心として、感染予防に対する注意喚起を継続的に行った。 ・新型コロナウイルス感染者は職員については断続的に発生したが、今年度は利用者についても5月と11月に陽性者が発生、11月はクラスターとなったが、保健所とも連携しながら適切に対策を実施し、最小限の拡がりに留めることができた。 ・新型コロナウイルス感染対策グッズ（マスク・ガウン等）をセットしたワゴンを各番街に配置し、発生時に即対応できるよう準備した。 ・ご利用者の発熱等新型コロナウイルス感染疑いがある場合は居室対応等対策及び経過管理を徹底し、職員の家族や本人の体調不良時には出勤を控え、病院受診、PCR検査の実施を指示、陰性確認後の出勤を徹底した。また、流行状況によりご家族との面会制限を適切適宜に実施した。 ・予防策として、利用者向け（一部職員向け）4、5回目コロナワクチンを実施、インフルエンザワクチン接種（利用者はたま日吉台病院、職員は東山田ヒルズクリニックの協力により）も行った。 ・インフルエンザは家族発症から一部職員の感染が発生したが施設内での感染は防げた。また、厨房職員によるサルモネラ菌発症はあったが当人のみに留め拡大は防げた。その他ノロウイルスなど食中毒感染症の発生はなく、標準予防策の定着が実感できた。 <p>②研修開催について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全職員を対象に下記2回の研修を開催した ・6月開催「標準予防策とその実践」 			

新入職員もいるため、あらためて標準予防策についての研修を実施。もっとも重要な手洗いについて、実際に手洗いした後にブラックライトで検証する実践的な内容とした。

- ・1月開催「季節感染症とノロ感染吐物処理手順」 ※当初11月予定もコロナ感染のため延期となったインフルエンザ、新型コロナウイルス、ノロウイルスについて整理して学ぶとともに、ノロウイルス発症時の吐物処理につき、処理方法をまとめた動画を視聴し、その後実際に処理を実践することで、発生時の行動を視覚と経験で身につける研修内容とした。

<次年度に向けて>

- ・知識、意識醸成の場として引き続き研修（2回/年）を実施する。標準予防策の徹底と時勢に沿った研修内容とする。新型コロナウイルス5類移行後も施設内での対策は継続実施の予定であり、その対策を周知する内容も盛り込む。また、新入職員用や外国籍職員向け研修ツールを作成し、新入職員については虎の穴研修の中のカリキュラムに追加を検討する。
- ・今後の国の方針を踏まえ、施設として取り組み策を決定し、適宜感染症対策マニュアルの見直しを行い、職員が最新のマニュアルをいつでも閲覧できる状態を維持する。
- ・ノロウイルス吐物処理動画の作り直しを行う。
- ・委員会メンバーは各部署責任者を中心とし、方針決定後の現場の動きをスムーズに行う体制とする。

事業報告書

委員会名称	褥瘡発生予防対策委員会		
報告書作成日	2022年4月15日	委員長	大金 美保
構成委員	山崎主任（看護）、山森啓子（栄養）、矢口起美代（介護）、ジョナー（介護） 竹原正也（介護）、加川民生（介護）、新井ちさと（介護）、 清水麻子（看護・機能訓練）、大金美保（相談・主任）		
スーパーバイザー	山崎課長		
報告期間	2022年4月1日	～	2023年3月31日 12ヶ月間
<p><目的及び課題></p> <p>褥瘡発生の予防、または発生時において適切なケアサービスを提供するために、多職種で委員を構成し、現状の問題点や改善点などを検討、協議することにより、早期発見、早期治療に努めることを目的とする。今年度は3か月毎（3月、6月、9月、12月）に行われるブレイデンスケールでの評価を基に①研修の実施、②治療計画書の取り組み、③栄養面から考えることについての検討、協議が課題であった。</p> <p><活動日></p> <p>毎月第4月曜日 16時30分～</p> <p><実施内容及び結果></p> <p>① 研修の実施</p> <p>前期は9月26日と29日に「褥瘡とは何か？」という事を全職員に周知することを目的にブレイデンスケールと事例問題や褥瘡対策個別計画書を使用してグループワーク形式で外池施設長による講義。2回合計41名の職員が参加し、参加した職員のためになるという言葉が聞かれたこともあり、褥瘡についての理解を深めた。</p> <p>② 治療計画書の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3か月ごとに行われているブレイデンスケールの評価では点数（数字）で褥瘡の予防または治療が必要か否かを判断している。 ・14点以下のご利用者に対して介護面、看護面、栄養面からどうすればよいのかを具体的に考え、実践するために今年度の委員会ではブレイデンスケールと並行して治療計画作成の準備を行ってきた。今年度ではパソコン入力での書類提出を導入。回数を重ね、ほぼ全職員がパソコン入力での提出ができるようになった。 			

<次年度に向けて>

- ・ブレードスケール、治療計画書の作成を期日内までにスムーズに行えるような仕組み作り、作成に当たり記入ポイントや注意点などを洗い出し、連絡ファイルや会議で通知するなど行い職員へアプローチする。
- ・スネーククッションの活用に伴い、適切な使用方法については一度研修を行う。
- ・汚染時の取り扱いについてマニュアル化し、職員への周知を図り統一することにより不手際による時間のロスや機会ロスを減らしていく。
- ・研修を実施する際は、委員会内全体で情報を共有し、開催に向けての準備を行っていく。

以上

事業報告書

委員会名称	苦情対応委員会		
報告書作成日	2023年3月26日	委員長	大崎 恵
構成委員 スーパーバイザー	山崎係長、大金美保（相談・主任）、石間雄人（介護・主任）、ロドリゴ（介護）、京極智之（介護）、増井太一（看護）、大崎恵（介護） 外池施設長		
報告期間	2022年4月1日	～	2023年3月31日 12ヶ月間
<p><目的及び課題></p> <p>委員会の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者やご家族、地域住民からの苦情や要望・意見などの速やかな対応に努める ・意見箱への意見投函数が少なく、苦情対応に関する研修開催が実施できていない課題がある。 <p><活動日></p> <p>奇数月の第二水曜日 16:30～</p> <p><実施内容及び結果></p> <p>委員会開催実施状況 全6回</p> <p>5月・7月・9月・11月・1月・3月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営繕高橋 W に意見箱設置台を作成。 ・ポスター作成（石間主任） ・投函依頼チラシ作成（大崎）及び連絡ファイル・会議にて周知 ・意見箱の中の確認及び回収 ・寄せられた意見について委員会内で確認し、必要に応じて他の委員会に対応を依頼する。 ・意見への返答がスムーズに出来るような流れ作りができた。 <p><次年度に向けて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んでご意見箱に投函して下さるご利用者の声を待つだけでなく、職員が声を察知する、聴いていく意識を持てるよう委員会として働きかける。 ・権利擁護委員会や他委員会と協働しより良いサービスが提供できるよう、研修会の開催なども検討していく。 <p style="text-align: right;">以上</p>			

事業報告書

委員会名称	広報委員会		
報告書作成日	2022年3月31日	委員長	山中 辰
構成委員 スーパーバイザー	及川悌明（介護）、京極智之（介護）ガーリー（介護）、山中辰（事務）、 佐々木理志（介護・副主任）、竹原正也（介護）、小林由和（看護） 高橋統括施設長、外池施設長		
報告期間	2022年4月1日	～	2023年3月31日 12 ヶ月間
<p><目的及び課題></p> <p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報活動を通して、ご利用者やご家族、地域の方々に施設の取り組みを PR するとともに、情報発信のツールとして活用する。施設の活動をお届けする。 <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報委員に役割を振り、広報誌の作成に関われるようにする。 ・ ホームページの有効活用と決められたスケジュール通りに進行する。 ・ 広報誌（百合ヶ丘便り）の発行を早く完成できるようにする。 <p><活動日></p> <p>毎月第二金曜日 16：30～</p> <p><実施内容及び結果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度に引き続き百合ヶ丘便りの発行は、毎月発行することができた。 ・ スタッフブログは更新があまり出来ておらず有効活用するには至らなかった。 ・ 百合ヶ丘便りのタイトルには書の会開催時に毎月、ご利用者へ題字の依頼を行った。 ・ ご家族にアンケートの協力を依頼し、広報誌作成の参考とした。 ・ 広報用の写真を撮る時に必要な写真数が少なかったり、使用できない写真が多かった。 <p><次年度に向けて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各委員との連携を取り各部署の協力をを依頼し、よりよい記事を作成する。 ・ 行事等の際にカメラは2名で行い、よりよい写真撮影を心がけたい。 ・ 広報誌は、外部印刷で発注し品質の良い紙にてご家族に提供したい。 ・ 継続して余裕をもって広報誌を上げれるようにする。 <p style="text-align: right;">以上</p>			

百合ヶ丘便り

表紙は古谷え江様(89)による書

22号 2022年 4月19日

発行所 レジデンスヤル百合ヶ丘 〒215-0012 川崎前橋生区東百合丘1-12-35 <http://www.lkumelkai.net/yurigooka/>

お花見弁当

3月30日の昼食は“お花見弁当”今年も外出は叶いませんでしたが…
ホラテシアの米田様のお琴の演奏を聴きながら、お花見弁当に舌鼓。優雅なお花見となりました。



米田様、今年もご協力ありがとうございました！

ぼたもち作り

「只今より、春のお彼岸のぼたもち作りを行います！」
放送を聞いて十数名のベテラン主婦たちがマルシェに集合！手作りの“あんこ”を賢沢に使った“ぼたもち”を作り、当日のおやつに振る舞われました。



「言葉」についての標語

権利擁護委員会にて、“言葉の違い”をテーマに標語を募集、職員とご利用者の投票により、5作品が選ばれ表彰しました。

標語は今年の合言葉として、より一層のサービス向上に努めます！

最優秀賞	浜江 信雄	「おはよう」の その一言が 生む元気
施設長賞	鈴木 和代	敬意ある 会話が引き出す みんなの笑顔
優秀賞	加川 武生	思いやる 言葉と気持ちで みんな笑顔
権利擁護委員会賞	大崎 恵	思いやり 敬う心 忘れずに
権利擁護委員会賞	米田 昭子	優しい言葉が増える程 素敵な笑顔も増えていく

ポイントゲッター表彰

育明会の職員研修は“お得”がいっぱい！
・知識と技術が身に付く！
・研修手当がいたただける！
・ポイントもGET！
年度末の職員会議にて、ポイントも多くGETした職員10名を表彰、豪華粗品を贈呈しました！

1位 三坂 郁弥



2位 浦山 真理子



祝 介護福祉士合格

統括施設長による受験対策講座にて伝授された秘儀“えんぴつ転がし”を引っ返げて介護福祉士国家試験に臨み結果4名の介護福祉士が誕生しました！頑張ったみなさんに拍手！！



編集後記

4月23日、レジデンスヤル百合ヶ丘は、おかげさまで5回目の開設記念日を迎えました。
気持ちを新たに、チーム青甲合みなで頑張って参りますので引き続き、宜しくお願い致します。

レジデンスヤル百合ヶ丘 広報委員会

百合ヶ丘便り

表紙は五石ソウルズ様(92)によるす

23号 2022年 5月18日

発行所 レジデンスヤル百合ヶ丘 〒215-0012 川崎市麻生区麻百合丘1-12-35 <http://www.ikumeikai.net/your/igookaf>



鯉仲間も増えて、今年も元気に泳いでいます。



カツオのぼり、ご存知ですか？

鯉をかたどった吹流しで、高知県や鹿児島県枕崎市などのカツオの名産地で大空を泳いでおり、「カツオのようにまっすぐ泳ぎ

突き進んでいけるように」

との願いが込められているそうです。施設のカツオのぼりは、枕崎市ご出身の方により、ご縁あってお譲りいただきました。

「え？カツオ？初めて見たわ！」と、ご利用者からも好評です。

ご自宅やご実家で眠っている鯉のぼりがございましたら、ぜひお譲りください。宜しくお願い致します。



菖蒲湯で邪鬼払い

第(せち)は、5月にしく月はなし。菖蒲(さうぶ)、蓬(よもぎ)などのかきありあひたる、いみじうをかし。 枕草子より



体がポカポカしてね、なんだか調子いいみたい。

私ね、菖蒲湯って大好きなの！
男の子の節句なのに、私が楽しみなのよね。



百合ヶ丘の娯楽大全

ゆりがおかのこらいたいせん

百人一首 当施設の百人一首は和気あいあい！

毎月第2日曜日に開催



読み手：「ひさかたの光のどけき春の日に しづ心なく花の散るらむ」
参加者A：「・・・え？」 参加者B：「『ひ』でしょ？『ひ』」
参加者C：「し・し・し・・・無いんじゃない？」 / VVVVA (笑)
みなさまの笑い声が響く、クラブ活動です。

塗り絵

それぞれの配色が見どころ！

毎月第1、第3日曜日に開催



ご利用者からの呼びかけで、今年度より活動を始めた塗り絵クラブ。
月に1〜2回活動しています。
目指すは特待生！？

将棋

楽しく！真剣に！いざ勝負！

年2回の大会を開催予定



ご利用者同士が誘い合って始まった将棋倶楽部。いよいよ、レジデンスヤル百合ヶ丘杯 春季大会が開幕！
黄金の盾は誰の手に？

介護業界にも求められる電子化の波 青明会も記録のICT化へ



編集後記 今年度の広報委員会の活動がスタートしました！みなさまに「次も見たい！」と想っていただけの広報誌となるよう頑張ります。応援、よろしく願いいたします！

レジデンスヤル百合ヶ丘 広報委員会

百合ヶ丘便り

表紙は杜松とミズナギ草 (92) による書

24号 2022年 6月17日

発行所 レジデンスヤル百合ヶ丘 〒215-0012 川崎市川崎区西百合丘1-12-35 <http://www.likimeikai.net/yurigaoka/>

徹底! 感染症予防対策!

去る5月20日、当施設においても新型コロナウイルスに見舞われました。みなさまには大変ご心配をお掛けいたしました。やはり感染症予防で大切なことは“感染症を正しく理解”すること。そして、“情報を共有”し“対応を徹底”すること。これからも、全力で感染症予防に努めてまいります。

感染症を正しく理解する ～感染症予防研修～ 6月10日実施!



高橋顧問による講義 最新情報にUPDATE!! 正しい知識が、ご利用者と自分を守る!



実践その意: 感染症予防の基本! 手洗いの実践 汚れは落ちているかな? ブラックライトで CHECK!



実践その式: ガウンテックニック! “いざ”という時も落ち着いて実践



こちらは感染症対応グッズのワゴン 手袋にガウン、N95 マスクに消毒液など 備えあれば憂いなし、必要なものが全てまとめてあり 直ぐに対応できます。



全職員1日2回の健康チェックを徹底!



環境整備も徹底!



手に触れる部分は 1日2回以上消毒を徹底! 手指の消毒を徹底!



ご利用者のみなさまも 手指の消毒を徹底!

虎の穴大作戦

佐原理事長による“講話”、高橋統括施設長による“高齢者の理解”をはじめ、施設職員が講師となり研修を行っています。「介護職員は一日にして成らず...」これからも一歩一歩、着実に学びを深め、ご利用者の皆様から信頼される職員になってください。(先輩より)



思いを言葉に 言葉を行動に 行動を形に 形を未来に

今年度の広報委員をご紹介します!!



今年度の広報委員は7名が担当となりました。「百合ヶ丘便り」を毎月発行しており、レジデンスヤル百合ヶ丘はどこなん所?どのような取り組みをしているの? そんな施設の内情を発信してまいります。

季節ごとの行事や日常の様子などを広報委員会としての活動を通し、ご覧いただく皆様にお伝え出来るように取り組んでまいります。

編集後記 来月は七夕、サマーバーゲン、流しそめんど楽しいイベントが盛沢山! ご利用者のみなさまとの懇談会も予定しております。

レジデンスヤル百合ヶ丘 広報委員会

百合ヶ丘便り

表紙は伊藤一成様(81)による書

25号 2022年 7月18日

発行所 レジデンスヤル百合ヶ丘 〒215-0012 川崎市磯子区南百合丘1-12-35 <http://www.ikemelkai.net/yurigaoka/>

レジデンスヤル百合ヶ丘の仲間たち

当施設では様々な国籍の職員が活躍しています。これからも宜しくお願い致します。



中国

「チョット…ニホンゴ…ムズカシ」

まだ来日間もない徐さんと許さんは技能実習生です。



フィリピン

5名も特定技能生で、現在日本語を猛勉強中。介護福祉士合格を目指しています！



ミャンマー

介護福祉士の取得を目標に特定技能生として頑張っています。



ペルー

一番の先輩であるエリカさんは外国籍職員のお姉さんの存在。



カンボジア

「チョット…ニホンゴ…ムズカシ」

まだ来日間もない徐さんと許さんは技能実習生です。



タイ

介護福祉士の取得を目標に特定技能生として頑張っています。



ラオス

「チョット…ニホンゴ…ムズカシ」

まだ来日間もない徐さんと許さんは技能実習生です。



ベトナム

介護福祉士の取得を目標に特定技能生として頑張っています。



インドネシア

介護福祉士の取得を目標に特定技能生として頑張っています。



カンボジア

「チョット…ニホンゴ…ムズカシ」

まだ来日間もない徐さんと許さんは技能実習生です。



フィリピン

5名も特定技能生で、現在日本語を猛勉強中。介護福祉士合格を目指しています！



ミャンマー

介護福祉士の取得を目標に特定技能生として頑張っています。



しそジュースでカンパニー

今が旬の赤しそ！今年も常盤台農園産の赤しそをたっぷり使って、「しそジュース」を作りました。

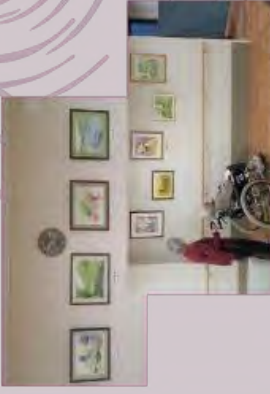


コンテ2つ分の赤しそ
しその葉を洗い、コンテ2つ分の赤しそ
しその葉を洗い、コンテ2つ分の赤しそ
しその葉を洗い、コンテ2つ分の赤しそ

効果
しそはロドテニンや、シリニンが含まれており皮膚や粘膜を丈夫にして保湿作用や活性酸素の働きを抑制する抗酸化作用が期待されます。また、視覚機能をサポートする働きもあります。

NEW! 絵画展示

2番街と3番街に飾っている絵画の強替えを行いました。展示数も7枚から9枚に増え、まるで美術館の一角のようです。



絵画を提供してくださっているユリアーナクラブの皆様ありがとうございます。

七夕

みなさんで作った「しそジュース」でカンパニー！



編集後記

ご利用者の4回目のワクワチン様種が揃まりました。感染者も増加していますので、感染予防を徹底し、気を付けて生活していきましょう。

レジデンスヤル百合ヶ丘 広報委員会

百合ヶ丘便り

表題は文庫と「子様(91)による書

26号 2022年 8月15日

発行所 レジデンスジャパン百合ヶ丘 〒215-0012 川崎市磯子区新百合丘3-2-35 <http://www.ikumeikai.net/yourigaoka/>

夏の百合ヶ丘

“そうめん流し”

7月13日、本物の竹を加工した、本格的な“そうめん流し”を開催しました！



セッティング完了！
そうめん流し開始！

今年も佐原理事長が揚げたての天ぷらをご提供！
特に好評だったのは、理事長特製かしわ天（塩麹仕込み）と常盤台農園産水なす天。お替りの列が途切れませんでした…

竹の器が味を引き立てます！



皆様の笑顔から、“楽しさ”と“美味しさ”が伝わってきます。



サマーバーガン

7月10日に(株)宮入様のご協力をいただき、サマーバーガンを開催しました。
「ちよっと地味かしら…」 「この色も素敵ね。」と、手に取りながら、ゆっくりとお買い物をお楽しみいただけました。



ご利用者のみなさまとの懇談会

7月8日(金)に“ご利用者のみなさまとの懇談会”を開催。31名の皆様にご出席いただき、様々なご意見をいただきました。その一部をご紹介します。



3 番街 宮澤弘 様

私はお刺身、生ものが大好きですが、食中毒のニュースを耳にすると心配になります…

アサキスという寄生虫が心配しています。仕入れ業者もしっかり処理をしていますし、厨房も食中毒予防に最大限努めていますので安心してお召上がりください。



高橋純昭 施設長

部屋の入口にある掲示板が全体的に高く見えづらい。メニューはなんとなくわかるけど… 私たちが見える高さにしてほしい。

4 番街 桂松とみ枝 様

取付位置を低くし、車椅子をご利用されている方でも見やすいようにします。



外池 施設長

コロナで家族に会えないのが寂しい。家族や孫が元気なのが知りたいです。

ご意見箱にご寄せられたご要望

ご家族の皆様へ

なかなか会う事ができず、みなさま淋しい思いをされているんじゃないかと思います。ぜひ、写真付きのお手紙やお葉書など、ご利用者宛にお送りください。個別にお手元までお届けいたします。宜しくお願いいたします。

これからもみなさまの“声”に目を向け、より良い施設サービスの実現に努めてまいります。

食事介助と口腔ケア研修

新型コロナウイルス対策

摂食嚥下障害看護認定看護師の治田先生と歯科衛生士の本間先生をお招きし、食事介助と口腔衛生をテーマに研修会を開催しました。



姿勢について実演する



ブラッシングについて実演する

8月初め、職員1名とご利用者1名に隣性が利用しましたが、感染態勢で拡大防止に努め、8/13には収束を控え、現在は平常のサービスが提供できております。

ご家族の皆様には大変ご心配をお掛けいたしました。この間、ご利用者の皆様には大変窮乏なご生活をお察しいしました。 「私たちがコロナから守ってくれたのね。ありがとう。」と職員を労ってくださり、この一言に、疲れも吹き飛びました。油断禁物、引き続き感染予防に努めてまいります。

編集後記 “そうめん流し” みなさまに楽しんでいただきました！
飯に刺されながらも、山へ竹を取りに行ってきた…

百合ヶ丘 女便り

表題は田島藤子様(84)
による書

27号 2022年 9月26日

発行所 レジデンスィヤル百合ヶ丘 〒215-0012 川崎市麻生区東百合丘1-12-35 <http://www.ikumeikai.net/yurigaoka/>

ビアガーデンin百合ヶ丘 OPEN!!

8月31日にビアガーデンを行いました！
感染症対策のため、当初の予定より3週間延期となり、皆様が待ちに待った開催！
天気は快晴、絶好の“生ビール”日和！笑顔が溢れるひと時となりました。



ご協力いただきました皆様、ありがとうございました！

研修 事故を無くす為には

主催の事故発生防止委員会が過去の事故をデータ化して傾向を分析、多職種によるグループワークで話し合い、対策を検討しました。最後は高橋統括施設長の豊富な経験に基づいたスーパービジョンにより、多くの気づきを得ることができた研修となりました。



9/1は防災の日 防災訓練を実施しました

MISSION 夜間に発生した火災から入居者を守れ！

当施設の夜間の職員体制は、夜勤者5名と宿直者1名…
消防隊や応援職員が駆けつけるまでの数分間に、少数でいかに効率よく動けるかがポイント！



物品を確認！



施設長による講習



みんなで流れを確認



火災報知器作動



館内に放送



指揮者より捜索の指示を



消防署からの遠信に対処



消火器による初期消火



初期消火失敗



逃げ遅れがないことを確認



確認漏れを無くすことを確認



確認漏れを無くす為、避難完了を表示！



現在の状況を報告し避難完了！



最後は消火器の取扱いを学び
防災訓練終了



万が一の災害に備えて、
3日分の飲料水と食事を
備蓄しています

編集後記 次回の百合ヶ丘便りは施設で一番大事なイベントである「敬老祝賀の集い」を掲載いたします。
式典、会食にお楽しみみの部と盛沢山！をうご期待！

百合ヶ丘便り

表題は福岡宮美子様(94)による書

28号 2022年 10月17日

発行所 レジデンスヤル百合ヶ丘 〒215-0012 川崎市麻生区東百合丘1-12-35 <http://www.lkumeikai.net/yurigooka/>

敬老会祝賀の集い

～会食の部～

恒例のお寿司三昧のお祝い宴に
職員からのメッセージカードを添えて…



ソフト食もお寿司三昧



～式典の部～

敬老の日、おめでとございます！
満 100 歳を迎えられた当施設最高齢の一岐様をはじめ、皆様のご長寿をお祝させていただきました。



百寿：一岐様 米寿：8名様 ご入居者平均年齢 66.3 歳（9 月現在）

唄で綴る思い出の昭和 part VII

青明会の歌老のお祝と言えば、恒例の“唄で綴る思い出の昭和”もちろん、脚本とナレーションは高橋統祐施設長！常盤台一室のお力添えもいただいて、華やかに行われました！

0：職員が演じた曲名はなに？

- ① ハン子助さんの お披露ソング
- ② わかっちゃいるけど やめられない
- ③ ヘイハイホー トントントーン
- ④ まっつあんとおよね



ホントに幕下の男の子だねー

すごく楽しくて感動しちゃったー



出演者の声

普段どのギャップをご披露することができました。
20 年ぶりにパッチリメイクアップしちゃいました。
長いセリフを覚えるのが大変でしたが、端まずに
言えて一安心しました

- A: ① 云者ワルワ (神楽坂ハンズ) ② スーダラ節 (鶴川亭)
③ 与作 (桂屋三郎) ④ 友類 (オヨネーズ)



おはぎ作り

9 月 25 日（日）にお彼岸の恒例“おはぎ作り”を行いました。
昔取った杵柄とはこのこと。美味しそうなおはぎを、慣れた手つきで作っていただきました！



作る所にチキッと“推高”
そのままだいたいでも
美味しそうなおんこ
“アスワ”もして準備万端

「昔は何回も作ったわよ」
「そうよね、ご質問にも配ってたわよね」

完成!!

みんなでおいしく
いただきました！

編集後記

10 月になって急に肌寒い季節になってきました。体調管理に気を付けて過ごしていきましょう！

レジデンスヤル百合ヶ丘 広報委員会

百合ヶ丘便り

表紙は小林トミエ様(89)による書

29号 2022年 11月18日

発行所 レジデンス・リハビリセンター 川崎市麻生区新百合ヶ丘1-12-32 <https://www.lkcmsk.or.jp/our-ipoa/>

大運動会



トロフィー返還式 各選手代表者による選手宣誓！



成踊合戦

今年はお楽しみ！ 審査員はご利用者！ 今年はお楽しみ！ 審査員はご利用者！



抽当て

「お楽しみ」

新競技の初当て！玉を当てまくれー！



ボウリング

新年恒例の糸巻競争！糸を引いてお菓子をつかみ取れ！



今年恒例の糸巻競争！糸を引いてお菓子をつかみ取れ！

こちらも新競技！「ボウリング」宮様の高橋さんが自作した発射台からボールを発射！いっぱいピンを倒そう！

今年恒例の糸巻競争！糸を引いてお菓子をつかみ取れ！

令和4年リモートじゃんけん大会

市民30施設とフイリン日本語学校とをZOOMで繋ぎ、オンラインによる「じゃんけん大会」が行われました。当施設の選抜メンバーは、じゃんけんでも負けたことが無い(?)と自負する5名！10月27日はプロック予想で「おらく後の丘」さんと対戦！結果…4分11秒にて敗退…。決勝トーナメント進出はなりませんでしたが、来年は川崎初優勝を目指します！



ポッチャトーナメント開催

昨年12月に開催した「ポッチャ」で初の個人トーナメント戦を開催！白熱した試合が繰り広げられました。見事なボールコントロールで圧倒的な強さを見せて優勝したのは2番手の原さん！準優勝と3位の皆様にもメダルと花束を贈呈しました。



年末年始の予定

- 12月11日(水) サムシングコンサート
- 12月14日(水) イルミネーション点灯式
- 12月15日(木) ご利用者懇話会
- 12月21日(水) クリスマスマスバイキング
- 12月22日(木) のど台座がらみ 初大会
- 12月23日(金) 餅つき
- 12月上旬 新型コロナ2種ワクチン接種
- 1月1日(日) 元旦お祝い勝
- 1月1日(日) 新年祝賀の楽しい
- 1月1日(日) 新春紅白歌合戦
- 1月1日(日) 書き初め

編集後記 12月はイベントが盛り沢山！体調を崩さないよう最後まで引き締めて頑張ってください！

百合ヶ丘便り



表題は浜江先生(74)による書

30号 2022年 12月19日

東京都 百合ヶ丘 5-2-15-0012 川崎市麻生区麻生台1-1-23-35 <http://www.ikusan-shi.or.jp/for/igokoku/>

毎年恒例の書の会作品展、15名の今年 No.1の作品を1番街に展示中！ご面会の際はぜひご覧ください。



久保とし子 (91)



秋山美智子 (95)



大石文代 (85)



古谷久江 (89)



小林トミエ (89)



工藤澁子 (83)



北村真子 (92)



福又昭 (79)



立石ツルエ (92)



福田富美子 (94)



田島勝子 (84)



植松とみ枝 (92)



小谷紀子 (83)



渡邊しげ子 (78)

Merry Christmas

今年もご利用者の皆様と一緒にクリスマスツリーの飾りつけをしました。イルミネーションも設置完了♪ 新しくアイテムも追加してイルミネーションもバージョンアップ!! みなさまにお楽しみいただければ幸いです。



年末年始の予定

12月

12月23日(金) クリスマスバイキング
12月26日(月) 餅つき



1月

1月1日(日) 元旦お祝い膳
1月4日(水) のど自慢カラオケ対抗大会
1月7日(土) 新年祝賀の集い
1月9日(月) 香初め
1月22日(日) ニューイヤークンサート
1月27日(金) 利用者健康診断
1月18日(水) 新春紅白歌合戦
1月中旬 新型コロナウイルス2回ワクチン接種

編集後記

今年最後の百合ヶ丘便りとなります。いつも閲覧いただきありがとうございます！来年も毎月発行し、様々な情報を発信いたしますのでぜひご覧ください。

レジデンスリヤル百合ヶ丘 広報委員会

百合ヶ丘便利

発行所 レジデンスチャル百合ヶ丘 〒215-0012 川崎市麻生区津島丘1-1-2-35 http://www.ikumeikai.net/your_igooka/

表題は福岡富美子様(94)
による書

31号 2023年 1月18日

謹賀新年



新年あけましておめでとうございます。昨年はご面会の制限、年末のクラスターと、新型コロナウイルスの影響を受け続けた一年となり、皆様にはご心配をお掛けいたしました。これからも感染症予防に努めながら、安心して安全、楽しみのある介護サービスの提供に務めて参ります。

本年もどうぞ宜しくお願いいたします。レジデンスチャル百合ヶ丘 職員一同

元旦お祝い膳

お厚節で健祥し、お節料理をいただきました。



新年祝賀の集い

今年も、米田様と井口様、秀美会社中のみなさまにご協力いただき、華やかな会となりました。



クリスマスバイキング

12月23日にクリスマスバイキングを開催しました。メインディッシュは、理事長お手製の「ローストビーフ」



おもちつき 2022年グランドチャンピオンは...香口和子様!



編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年も百合ヶ丘便りをよろしく願っています。

レジデンスチャル百合ヶ丘 広報委員会

百令ヶ丘便り

表題は秋山美智子様(96)による書

32号 2023年 2月17日

発行所 レジデンスチャル百合ヶ丘 〒215-0012 川崎市麻生区麻生百合ヶ丘1-12-35 <https://www.ikunelkal.net/jyar/igaokai>

豆まき 豆節分

2月3日は節分の日！毎年恒例の豆まきを行いました。



各部署の主任、副主任で構成された鬼衆も準備万端

撃退用の豆の総重量は 15Kg!



いざ鬼退治へ



各所で繰り広げられる鬼衆との 激闘



鬼は外 福は内

鬼を払い、よい一年となりますように...

心も体もポカポカ

鍋の日

常盤台農園産の新鮮なお野菜をたっぷり使ったお鍋を堪能しました。



鍋を囲み、笑顔がこぼれます。



ネギも白菜もとっても甘くて美味!



「とってもおいしいわ」



締めは雑炊で

「あなたも食べてみる？」

SOMETHING

ニユーヤヤーコンサート

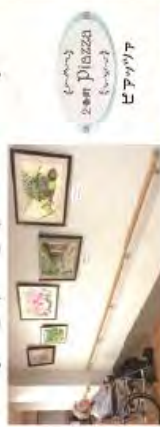
1月22日にニユーヤヤーコンサートを開催しました！
素敵なお歌声が響き渡り、心が癒されます。



サムシングの皆様、ありがとうございます。

施設の一角が美術館に!

ユリアートクラブの皆様が、絵を入れ替えてくださいました。2番街と3番街に展示しています。



1st Floor
2nd Floor
3rd Floor
4th Floor
5th Floor
6th Floor
7th Floor
8th Floor
9th Floor
10th Floor
11th Floor
12th Floor
13th Floor
14th Floor
15th Floor
16th Floor
17th Floor
18th Floor
19th Floor
20th Floor

ピアソワ

ピアソワ

編集後記

寒い日にはやっぱりお鍋が一番！まだまだ寒い日が続きますが乗り切って春を迎えましょう!

レジデンスチャル百合ヶ丘 広報委員会

百合ヶ丘便り

表紙は吉本文江様(90)による書

33号 2023年 3月19日

発行所 レジデンスヤル百合ヶ丘 〒215-0012 川崎市麻生区東百合丘1-12-35 <http://www.ikumakal.net/yur/ikaokal>

ご利用者の権利擁護研修

権利擁護委員会主催の研修会を、外池施設長を講師に開催しました。

テーマは「言葉」

グループワークでは、職員個々の体験談、考えや想いなど意見交換を行い、グループ毎に発表し、良い気づきが得られた研修となりました。

“リスパケケア”～あらゆる場面において敬意を持って対応する～が、私たちの合言葉



春の訪れ



チューリップも元気に育ち、桜の開花も間近!



春も近づき今日もみんな元気に体操!

社会福祉国家試験

3月7日に社会福祉士国家試験の合格発表があり、2名が花を咲かせました

おめでとうございます!

今後の予定

- 3月23日(木) お花見弁当
- 3月29日(水) お花見
- 3月30日(木) お花見

よいとこまるマカは OPEN

コロナ禍でなかなかできなかった“よいところ”が約8カ月ぶりにOPENしました!



～本日のメニュー～
揚げ出し豆腐、豚バラ大根、白菜味噌漬、ツナと具のナムル



広報委員会より お知らせがあります!



いつも百合ヶ丘便りをご覧いただきありがとうございます
今年度の広報誌はいかがでしたでしょうか?
ご意見やご感想、お気づきの点がございましたら、是非お聞かせください。4月号からは新たなメンバーでの委員会活動となります。
引き続き、百合ヶ丘便りを重しく願っています。

感染症対策について

この度川崎市より、「高齢者福祉施設等におけるマスク着用の方の見直し等について」の通知があり、当法人においても、通知に準じた対応いたしますので、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

マスク着用について

- ・職員勤務中は不織布マスクを着用いたします。・ご面会の際は不織布マスクの着用をお願いいたします。
- ・「手洗い等の手指衛生」、「換気」等の基本的な感染対策をお願いいたします。
- ・事前予約制といたします。

人事異動のお知らせ

いつも当施設サービスへのご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。この度、外池水尚施設長が姉妹法人へ異動となり、後任として佐藤直明課長が施設長に就任することとなりましたのでご報告させていただきます。引き続き宜しくお願いします。

外池施設長より

直接お目に掛ってご挨拶できず申し訳ございません。ご利用者そしてご家族の皆様、地域、関係機関の皆様には、暖かく重大なご支援をいただき、ありがとうございます。これまで学ばせていただいたことを活かし、これからの職務につとめて参ります。本当にありがとうございます。

佐藤課長より

この度、外池施設長の後任として施設長を務めさせていただきますこととなりました。至らない点も多々あるかと存じますが、全力を尽くして参りますので、今後ともレジデンスヤル百合ヶ丘を、どうぞ宜しくお願い致します。

編集後記

桜の開花が待ちどほしいですね。今年は4年ぶりの屋外でのお花見を予定しており、みなさまとても楽しみにされています。いい天気になりますように……

レジデンスヤル百合ヶ丘 広報委員会

事業報告書

委員会名称	行事委員会		
報告書作成日	2023年4月10日	委員長	野口 正子
構成委員	石間雄人（介護・主任）、佐々木理志（介護・副主任）、久保田伸一（介護）、三坂郁弥（介護）熊澤麻衣子（事務）、山中辰（事務）、大崎恵（介護）、野口正子（介護）、山森啓子（栄養）増井太一（看護）、村松浩恵（介護）		
スーパーバイザー	高橋統括施設長、外池施設長		
報告期間	2022年4月1日	～	2023年3月31日 12ヶ月間
<p><目的及び課題></p> <p>コロナウイルス感染対策を行いながらも、ご利用者へ四季にあった行事を開催し、季節を感じながら日常生活を送っていただく。また、職員やご利用者と共に行事を作り上げ、日常生活活性化、QOLの向上を目指した取り組みとして行事の企画・開催を行う。</p> <p><活動日></p> <p>毎月第二火曜日</p> <p><実施内容及び結果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月…<u>五月人形・鯉のぼり飾りつけ</u> 各番街に五月人形の設置。鯉のぼりの掲揚を行う。5月いっぱい飾り、ご利用者に楽しんでいただいた。 ・7月…<u>七夕飾りつけ</u> 各番街のご利用者と一緒に笹の飾りを行い、ご利用者やご家族、職員へ短冊に願い事を書いて飾る。 ・7月13日 <u>そうめん流し</u> 主担当：石間主任（介護） マルシェの外を開放し、そうめん流しをお楽しんでいただいた。ソフト食対応のご利用者もそうめん流しへ参加。職員は甚平や浴衣を着て雰囲気作りを行った。流し台の竹の高さが高く流そうめんの流れが速かったと意見があった為、次回開催時の課題となった。 ・8月31日 <u>ビアガーデン IN マルシェ</u> 主担当：山中（事務） コロナウイルス感染対策を考えサマーフェスタを中止し代替の催しとして、暑気払いで夏の雰囲気を感じていただくことを企画。ご利用者と職員と一緒に飲食を楽しむことにより信頼関係をより深めることに繋がった。 			

・ 9月16日・19日 敬老祝賀の集い 主担当：佐々木（介護）

9月16日に会食の部として昼食時に寿司バイキングを中心としたお祝い膳を提供することができた。

9月19日に式典の部とお楽しみの部を開催。最高齢の方にはズボン。米寿の方には櫛や美容関係を揃えたおしゃれセット。ご利用者全員にご利用者にお祝いの品と、バッグをプレゼントした。

式典の部において、お祝い品を受け取るご利用者の配置も事前にレイアウトに組み込んだことで贈呈の際にはスムーズに行うことができた。

・ 10月26日 秋の大運動会 主担当：大崎（介護）

スポーツの秋、季節を感じていただきリハビリを兼ねた軽い運動と、ゲームを楽しみ、職員やご利用者同士の交流を目的に行なった。競技には糸巻き競争や玉入れの他に、新たにボーリングを取り入れた所ご利用者に好評で、その後毎月行なってほしいと意見が挙がった。

・ 12月21日 クリスマスバイキング 主担当：久保田（介護）

バイキング形式の食事を用意し、食事を楽しみながら、クリスマス・師走などの12月の季節感を味わっていただいた。ご利用者担当の職員がクリスマスカードのメッセージを作成し、お渡しした。

当日を迎える前に各番街の委員、職員を中心に飾りつけを行った。

別日に、イルミネーションを点灯し、多くのご利用者へクリスマスの雰囲気を感じていただくことができた。

・ 12月28日 餅つき

マルシェにて餅つきを行った。ご利用者も餅をついていただき、つきたての餅はからみ餅・あんこ餅とそて召し上がっていただいた。

・ 1月7日 新年祝賀の集い 主担当：村松（介護）

年初めのお祝いを行い、米田様・井口様によるお琴と尺八の演奏と、秀美会社中による民謡ショーを開催しご利用者の皆様にお楽しみいただいた。

・ 2月3日 節分・豆まき 主担当：野口（介護）

年男年女を中心に各番街を回りながら豆まきを行い、邪気を払い一年の無病息災を願った。鬼役の職員の回るルートが各番街に情報共有が行えていなかったり、豆が不足してしまったりと、改善する点が多く見られてはいた為、次回に活かしていけるように引き継いでいく。

・ 3月28～30日 お花見 ・ 3月23日 お花見弁当 主担当：熊澤（事務）

手作りの手毬寿司等が入ったお花見弁当をマルシェと各番街にて提供し召し上がっていただいた。

28日は雨天の為、花見ドライブとなり、29日、30日は塔之越里公園内で桜の花を観ていただくことができ喜んでいただけた。

<次年度に向けて>

- ・コロナウイルス感染症の動向確認を行い、サマーフェスタ含めその他行事の開催を協議検討していく。
- ・各行事開催後の反省を元に、次回開催の行事開催前にしっかり話を詰めていく。
- ・行事委員だけでなく、各職員へも協力を依頼し施設全体でご利用者の満足度向上に努めていく。

以 上

事業報告書

委員会名称	研修委員会																																																				
報告書作成日	2023年 4月 11日	委員長	先崎 希実																																																		
構成委員 スーパーバイザー	鈴木貴之（介護・主任）、菅井仁美（介護）、京極智幸（介護） 大橋紀穂（事務）、渡邊隆介（介護）・先崎希実（介護・副主任） 佐藤介護事業支援課長																																																				
報告期間	2022年4月1日	～	2023年3月31日	12ヶ月間																																																	
<p><目的及び課題> 研修の企画、運営、施設内研修実施報告書作成、研修後の報告書回収・管理、研修ポイント管理。</p> <p><活動日> 毎月第三水曜日 16時30分～</p> <p><実施内容及び結果> 運営基準に基づいた研修の開催。職員の専門知識及び技能向上を目指した。各種委員会開催の研修の応援やリリースを実施。 年間で実施した研修については下欄参照。</p> <p>2022年度 研修実施一覧</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>研修内容</th> <th>講師</th> <th>受講人数</th> <th>時間（分）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月25日</td> <td>褥瘡発生予防研修ポジショニング 基礎講座</td> <td>山崎介護係長</td> <td></td> <td>終日</td> </tr> <tr> <td>5月13・16・ 17・18・20・ 23・24・25日</td> <td>新人職員研修 虎の穴大作戦</td> <td></td> <td></td> <td>終日</td> </tr> <tr> <td>6月8日</td> <td>理事長講話</td> <td>佐原幹夫理事長</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6月10日</td> <td>感染症・食中毒予防研修</td> <td rowspan="2">高橋幸雄法人顧問</td> <td>34名</td> <td>120分</td> </tr> <tr> <td>6月24日</td> <td>標準予防対策とその実践</td> <td>53名</td> <td>90分</td> </tr> <tr> <td>7月11日</td> <td>みんなで学ぶ食事介助と口腔ケア研修</td> <td>治田悠介先生 本間久恵先生</td> <td>36名</td> <td>90分</td> </tr> <tr> <td>7月19日 7月28日</td> <td>映画鑑賞「しわ」</td> <td></td> <td>26名 14名</td> <td>150分</td> </tr> <tr> <td>7月19日 7月21日 7月25日 7月28日</td> <td>記録システムケアパレット操作説明会 その①</td> <td>高橋哲洋課長</td> <td>5名 11名 11名 11名</td> <td>120分</td> </tr> <tr> <td>8月16日</td> <td>スキルアップ研修その①</td> <td>高橋統括施設長</td> <td>8名</td> <td>90分</td> </tr> </tbody> </table>					日時	研修内容	講師	受講人数	時間（分）	4月25日	褥瘡発生予防研修ポジショニング 基礎講座	山崎介護係長		終日	5月13・16・ 17・18・20・ 23・24・25日	新人職員研修 虎の穴大作戦			終日	6月8日	理事長講話	佐原幹夫理事長			6月10日	感染症・食中毒予防研修	高橋幸雄法人顧問	34名	120分	6月24日	標準予防対策とその実践	53名	90分	7月11日	みんなで学ぶ食事介助と口腔ケア研修	治田悠介先生 本間久恵先生	36名	90分	7月19日 7月28日	映画鑑賞「しわ」		26名 14名	150分	7月19日 7月21日 7月25日 7月28日	記録システムケアパレット操作説明会 その①	高橋哲洋課長	5名 11名 11名 11名	120分	8月16日	スキルアップ研修その①	高橋統括施設長	8名	90分
日時	研修内容	講師	受講人数	時間（分）																																																	
4月25日	褥瘡発生予防研修ポジショニング 基礎講座	山崎介護係長		終日																																																	
5月13・16・ 17・18・20・ 23・24・25日	新人職員研修 虎の穴大作戦			終日																																																	
6月8日	理事長講話	佐原幹夫理事長																																																			
6月10日	感染症・食中毒予防研修	高橋幸雄法人顧問	34名	120分																																																	
6月24日	標準予防対策とその実践		53名	90分																																																	
7月11日	みんなで学ぶ食事介助と口腔ケア研修	治田悠介先生 本間久恵先生	36名	90分																																																	
7月19日 7月28日	映画鑑賞「しわ」		26名 14名	150分																																																	
7月19日 7月21日 7月25日 7月28日	記録システムケアパレット操作説明会 その①	高橋哲洋課長	5名 11名 11名 11名	120分																																																	
8月16日	スキルアップ研修その①	高橋統括施設長	8名	90分																																																	

8月19日	事故発生防止 服薬について	高橋好美統括施設長	25名	120分
9月23日	スキルアップ研修その②	高橋好美統括施設長	9名	90分
9月26日	褥瘡について詳しく知ろう！	外池永尚施設長	25名	90分
9月29日			18名	
9月30日	映画鑑賞「しわ」		21名	150分
10月28日	スキルアップ研修その③	高橋好美統括施設長	8名	90分
11月29日	摂食嚥下	初谷守朗医師		
12月23日	スキルアップ研修その④	高橋好美統括施設長	5名	90分
1月17日	季節感染症とノロウイルス感染 吐物処理について	高橋幸雄顧問	28名	90分
1月20日			37名	
1月15日	ステップアップ研修 ～リーダーの役割と考え方～	山崎介護係長	5名	60分
1月17日			3名	
2月17日			4名	
1月27日	スキルアップ研修その⑤	高橋好美統括施設長	6名	90分
2月13日	研修委員会	高橋好美統括施設長	31名	90分
2月16日	看取り介護研修		13名	120分
3月8日	権利擁護研修 ～あなたならどうする～	外池永尚施設長	46名	105分
3月17日			25名	90分
3月28日	生活習慣病～医者が教えるダイエット～	高橋統括施設長	34名	90分

合計受講者人数：447名 合計時間：1830分

<2022年度ポイントゲッター>

ポイントカードを作成し、研修実施時にスタンプで押印し、研修参加回数の多い職員上位10名を2022年3月職員会議にてポイントゲッターとして表彰を行い、豪華粗品の謹呈を行った。受講ポイント上位者は以下のとおり。

順位	獲得ポイント	氏名	順位	獲得ポイント	氏名
1位	28ポイント	清水 麻子	5位	20ポイント	長井 真希子
2位	24ポイント	久保田 伸一	6位	19ポイント	村松 浩恵
3位	22ポイント	津島 昭子	7位	18ポイント	山崎 諭憲
4位	21ポイント	鈴木 貴之	7位	18ポイント	京極 智幸
5位	20ポイント	西山 奈智子	8位	17ポイント	張 慧蓉

<2022 年度総括>

新型コロナウイルス感染拡大により研修が延期や中止となることも多くあり、前年度より研修数、時間ともに少ない傾向にあったが、感染症状況を鑑みて急遽研修会等を企画するに至ったが、参加者は多く職員の意識が高まっていると感じた。

研修について職員へアンケートを行ったが書式が前の様式であった為、集計方法がしっかり行えていなかった。

2022 年 11 月 11 日の川崎市実地指導での指摘事項である看取り研修を年度末 3 月の開催になったが行うことが出来た。引き続き施設運営基準に設けられている研修については漏れのないよう企画を行うようにしていく。介護福祉士受験対策講座（スキルアップ研修）については、5 回の研修を開催し、本年度 1 名受験し合格することができた。

<次年度に向けて>

- ・今年度実施できなかった救命救急講習の企画。
- ・施設運営規定で行う研修会の開催確認。
- ・職員からのアンケートに踏まえた研修の実施。
- ・来年度は介護福祉士を受検職員が多くなる為、受験・合格へ向け「介護福祉士受験対策講座」に注力していきたい。
- ・引き続き、全職員が受講できるような開催時刻調整や周知方法について追及し、職員のスキルアップ向上を目的、施設サービスの向上に努めていく。

以上

事業報告書

委員会名称	栄養食事ケア検討委員会		
報告書作成日	2023年3月31日	委員長	中里 蘭
構成委員	山崎なみき（看護・主任）、先崎希実（介護・副主任）、小曾根千恵（介護・副主任） 山森啓子（栄養）、板垣精一（介護）、舘前純子（介護）、鈴木和代（介護）、 藤本エリカ（介護）、アンジャネット（介護）、米田昭子（介護）、中里蘭（介護）		
スーパーバイザー	山崎介護係長		
報告期間	2022年5月1日	～	2023年3月31日 11ヶ月間
<p><目的及び課題> 食事にに関するケア及び質の向上を図る為の取り組みを行う。</p> <p><活動日> 毎月第一水曜日 16時30分～ 参加人数確保の為日程変更後→毎月第一木曜日 16時30分～</p> <p><実施内容及び結果></p> <p>1. 口腔体操の実施について まずは委員のメンバーで口腔体操の方法を再度確認し、率先して口腔体操を実施し、方法を知らない・もしくは慣れていない職員へは教える。CWが実施出来ない場合は他職種(主にキッチンエイド)とも連携を取りながら、食前の当たり前のケアとしての定着を図った。しかし、3ヶ月するとユニット型では実施していないことが多々あることがある為、定期的に委員から発信、実施を促していくようにした。</p> <p>2. ミルメイクの廃棄量について 一昨年より毎週水曜日に提供を開始したミルメイクだが、100作り60破棄が出ていると栄養係から報告を受ける。なぜそんなにも破棄されてしまうのか検証した結果、厨房から各番街へ上膳される時間が10時だと臥床されているご利用者が多く提供が困難だということがわかり、上膳時間を早めたところ、廃棄量が開始当初はコップ1杯に減少する。(現在は平均して約20)</p> <p>3. 各番街の冷蔵庫内の調味料について ご利用者の食事摂取量の向上と共に、好みに合わせた食事を提供できるよう、現在冷蔵庫内で保管している醤油・ソースの他に欲しい調味料はないか、ご利用者に向けてのアンケート(口頭でも)を作成する。集計の結果・協議の結果、お酢を新たに冷蔵庫内で保管することとなる。</p>			

4. 誕生日会のマニュアル作成について

誕生日会を実施する意義【年に1度のご利用者の誕生日を、これまで生きてきた人生に敬意を表してお祝いすると共に、これからのさらなる健康を願って同丁目の方と職員がお祝いする】を念頭に置き、統一した誕生日会を開催できるようにマニュアルを作成した。新たに誕生日メッセージボードと、それを立てかけるイーゼルを各番街に用意し、より華やかな演出を取り入れた。今年度からはピアノ・アコースティックギター・ウクレレ・フルートといった楽器演奏も交えてのお祝いを実施し、ケーキを召し上がった後に皆さんで懐かしの歌を歌われ同丁目の方との交流を深められる時間にもなっている。

また、ご利用者担当職員が作成するお誕生日のメッセージカードが作成忘れて誕生日当日にない、または即席の印字されたメッセージのみということが多々目立っていた為、共有のメッセージ作成ボックスを2番街キャビネット内に設置し、作成忘れがあった場合は当日のリーダーが中心となって職員に寄せ書き等声を掛け、記念写真でメッセージカードがないという状態をなくすことができた。

5. 新バンダナ作成について

昨年度から検討していた、現在使用しているバンダナより厚手の生地で食べこぼしがご利用者の洋服まで浸透しない、レジデンシャル常盤台で使用しているテーブルクロスで作ったバンダナをレジデンシャル百合ヶ丘でも作成することとなる。しかし、生地のサンプルを取り寄せ、モニタリングし検討を重ねることを計2回行なった為、生地・型を決めて作成完成するまで半年以上かかってしまった。5種類のバンダナを計56枚作成。専用の蓋付き容器に留め具と共に保管する。以前のバンダナより新バンダナの方が大きく撥水もあり、膝元で5cm程折り返し両端をクリップで留めて食残を受け止めるポケットを形成するという工夫を取り入れ、自立介助を促しやすいというメリットが生まれた。

6. ご利用者の栄養状態について（利用者体重測定表）

昨年度から引き続き、ご利用者の体重の増減とそれに伴う栄養科・医務からのアプローチを含めた状況表を照らし合わせて、委員で毎月話し合い改善点をあげて各番街の介護職員への周知を図った。

<次年度に向けて>

1. 口腔体操の実施について

定期的に委員から他職員へ、口腔体操は当たり前のケアという発信をして意識づけを行ない、多職種(主にキッチンエイド)と連携を取りながら実施していない番街がないようにしていきたい。(口腔対応のエビデンスについてももしっかり周知していく。)

2. 誕生カードについて

定期的にメッセージ作成ボックス内をチェックし補充を行ない、活用できるよう周知を図っていく。

事業報告書

委員会名称	入浴ケア検討委員会														
報告書作成日	2023年3月31日	委員長	鈴木 貴之												
構成委員	新井ちさと（介護）、高山敬子（介護）、小倉悦子（介護）、野口正子（介護） 小林由和（看護）、鈴木貴之（介護・主任）														
スーパーバイザー	山崎介護係長														
報告期間	2022年4月1日	～	2023年3月31日 12ヶ月間												
<p><目的及び課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入浴に関するケア及び質の向上を図る為の取り組みを行なう。 ・入浴剤を使用し、心身のリラックス効果の期待と入浴時の全身状態の確認による異常の早期発見と早期対応。 <p><活動日></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月第2木曜日 <p><実施内容及び結果></p> <p>①「名湯めぐり」及び「季節の湯」の実施。</p> <p>毎月の3日間に実施日を設定し実施。また季節の湯として5月に菖蒲湯、12月にゆず湯、そして3月にさくらの香り湯を実施。各月の名湯めぐりについては以下の通り実施。</p> <table border="1"> <tr> <td>5月 菖蒲湯 5/4～5/6</td> <td>11月 コロナ対応の為未実施</td> </tr> <tr> <td>6月 箱根温泉 6/23～6/26</td> <td>12月 ゆず湯 12/22～12/24</td> </tr> <tr> <td>7月 草津温泉 7/28～7/30</td> <td>1月 白骨温泉 1/26～1/28</td> </tr> <tr> <td>8月 コロナ対応の為未実施</td> <td>2月 霧島温泉 2/24～2/26</td> </tr> <tr> <td>9月 白浜温泉 9/8～9/10</td> <td>3月 さくらの香り湯 3/24～3/26</td> </tr> <tr> <td>10月 登別温泉 10/20～10/22</td> <td></td> </tr> </table> <p>今年度はコロナ感染症の対応で実施出来ない月が2回もあり、昨年度より名湯めぐりを開催出来ないのが残念であった。また、入浴介助者が入浴剤を入れ忘れるという事もしばしば見受けられた。チェック表の再周知と開催時のリリースを再徹底していくべきだと改めて感じた。外国籍の職員も増えてきたので、周知する際にはルビを振るなどの対応も必要かと感じた。ポスターについては昨年度まで使用していた大伴ポスターに記載されている日程を消し、新たにポスターを印刷した。これにより実施日が毎年変わっても次年度以降も再使用できるようになった。また、今年の9月以降の月からは各入浴委員が掲示用のポスター作成を担当し、その温泉らしさと委員のセンスを感じられるポスターを活用。オリジナリティのあるポスターを使用する事によってより、温泉気分を楽しめて頂けたと感じる。</p>				5月 菖蒲湯 5/4～5/6	11月 コロナ対応の為未実施	6月 箱根温泉 6/23～6/26	12月 ゆず湯 12/22～12/24	7月 草津温泉 7/28～7/30	1月 白骨温泉 1/26～1/28	8月 コロナ対応の為未実施	2月 霧島温泉 2/24～2/26	9月 白浜温泉 9/8～9/10	3月 さくらの香り湯 3/24～3/26	10月 登別温泉 10/20～10/22	
5月 菖蒲湯 5/4～5/6	11月 コロナ対応の為未実施														
6月 箱根温泉 6/23～6/26	12月 ゆず湯 12/22～12/24														
7月 草津温泉 7/28～7/30	1月 白骨温泉 1/26～1/28														
8月 コロナ対応の為未実施	2月 霧島温泉 2/24～2/26														
9月 白浜温泉 9/8～9/10	3月 さくらの香り湯 3/24～3/26														
10月 登別温泉 10/20～10/22															

②入浴ケア物品の管理、メンテナンスについて。

今年度より、F浴でスライディングボードを使用する事となった。使用することにより、移乗方法の統一化が出来た。そして何より職員の腰痛予防に対応できたと実感。また、個浴の浴槽には手すり及び移乗台を設置した。これにより浴槽を跨ぐ際により安全に介助出来、ご利用者がより安心する入浴ケアを提供できたと感じた。

また、入浴介助する職員より、「もう少し髪の毛が早く乾くようにしてほしい」と要望があり、新たに各浴室に4台ドライヤーを購入した。

③入浴専門の職員の配置及び浴室の清掃について

今年度より、入浴専門の職員が入った。その方々と共にロイヤリティのある入浴介助も目指したが、離職等もあり叶わなかった。

前年度より毎月の委員会開催後に各フロアの浴室を点検し整理、整頓、清掃することを決めていたが、実施できなかった。

<次年度に向けて>

名湯めぐりについては毎月実施する形になっている為、引き続き実施していく。入浴剤の入れ忘れに関しては次年度では、入浴担当表にその旨記載し忘れないようにしていく等の対策を検討していく。今年度は指導監査があるという事で入浴介助の見直しを実施したが、リニューアルという形まで運ぶ事が出来なかった。次年度には第一にマニュアルの改訂を実施していただきたい。

現状で満足せず、今後もより良い入浴ケアの提供を目指し入浴業務をされている職員から話を汲み取り、委員会で話し合い協議して行って頂きたい。

以上。

事業報告書

委員会名称	排泄ケア検討委員会		
報告書作成日	2023年4月26日	委員長	深沢夏鈴
構成委員	山崎なみき（看護・主任）、西山奈智子（介護・副主任）、クリスアン（介護） 矢口起美代（介護）、齋藤朝代（介護）、及川悌明（介護）、館前純子（介護） 増井太一（看護）、深沢夏鈴（介護）		
スーパーバイザー	山崎係長		
報告期間	2022年4月1日	～	2023年3月31日 12ヶ月間
<p><目的及び課題> 排泄に関するケア及び質の向上を図る為の取り組みを行う。</p> <p><活動日> 毎月第4金曜日 16:30～</p> <p><実施内容及び結果></p> <p>①クリーンルーム内の清掃マニュアルについて 昨年度にクリーンルームの清掃マニュアルを作成し実施してきた。クリーンルームの清掃及び陰洗ボトル等の消毒は継続して出来ているが、ゴミ箱の清掃、洗濯槽の清掃等は実施出来ないことが見受けられる。次年度に引継ぎ再度周知と徹底をしていく。また、クリーンルーム内清掃チェックシートを、毎月初めに新しい用紙に変更した。</p> <p>②バルーンパックカバーの見直し 現段階ではカバーの個数は足りていたが、保管場所が固定されていなかったため、バルーンパックカバーの保管場所（機能訓練室）を設けた。また、バルーンパックカバーの交換が日常的に行えていない事が判明したため、入浴準備の際にバルーンパックカバーの準備を行い、入浴後に交換することとした。</p> <p>③陰洗ボトルの洗浄について 陰洗ボトルの保管の仕方が不衛生なのではないかとの意見があったため、陰洗ボトルを立てかけることのできる置物と、その下に敷く珪藻土マットを購入し、使用を開始した。</p> <p>④ご利用が使用している排泄物品一覧表について 各入居者が使用する排泄物品一覧表についてクリーンルーム内に掲示してあるが、ご利用者の入退所及びADL等の変化によって変更した際に更新をしていった。変更がなくても月に1回を目安に更新をした。</p>			

⑤研修の実施

当初 8 月から 9 月に予定していた研修だったが、コロナ感染症の対応があり延期となっ
てしまい、3 月に研修を実施する事が出来た。今回もリブドゥコーポレーションのご協
力で、オムツの当て方、陰部洗浄についての研修を実施。研修に参加した職員には二
人一組になり、実際にリハビリパンツの履き心地を体験してもらった。

<次年度に向けて>

今年度は、排泄のメカニズムとオムツの当て方の 2 種類の研修を行う予定だったが、感
染症対応期間が重なってしまい、オムツの当て方研修のみの実施となってしまっ
た。また、準備期間がギリギリになってしまい、研修が 1 日しか行えず参加人数が少
なかったため、次年度はもう少し準備期間を設け、排泄のメカニズムの方の研修も
行ないたい。委員会の開催についても定例開催がほとんどできなかった。次年度
はしっかりと定例開催をし、ご利用者の排泄ケアについても検討していきたい。

以上

事業報告書

委員会名称	業務改善プロジェクトチーム		
報告書作成日	2023年4月14日	委員長	鈴木 貴之
構成委員	長井真希子（介護・主任）・山崎なみき（看護・主任）・大金美保（相談・主任） 先崎希実（介護・副主任）・佐々木理志（介護・副主任）、菅井仁美（介護）、深沢夏鈴（介護）、矢口起美代（介護）、増井太一（看護）、鈴木貴之（介護・主任）		
スーパーバイザー	山崎係長・佐藤課長		
報告期間	2022年4月1日	～	2023年3月31日 12ヶ月間
<p><目的及び課題> 業務内容の課題を抽出、整理しメンバーで協議を行ない、各セクションへフィードバックしていく。</p> <p><活動日> 不定期開催</p> <p><実施内容及び結果> 4月から新たにメンバーを招集しプロジェクトチームを結成。2週間に1回を目安に集まり各番街と医務、相談から挙げられた課題や問題点を挙げていった。 初めは各セクションの課題を付箋に記入しその後、課題をカテゴリー分けしていった。既存の委員会で解決すべき問題は委員会へ課題を投げかけていった。それでも解決しない事案については業務改善のメンバーで話し合いを行なった。 今年度注力をしたのは口腔ケアについてである。今年度の入院者の統計を確認すると、誤嚥性肺炎での入院者が多く見られた。主な要因として食後の口腔ケアがしっかりとできておらず、食事、排泄介助の優先順位が先になってしまっている。そこでまず初めにご利用者の口腔ケアの物品や口腔ケアをするための道具を用意していった。次に食後に口腔ケアをするという業務のルーティン化を多床室とユニットで分けて決定していった。流れについては以下の通りとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多床室 食後リビングにある洗面台で口腔ケアをする方と、食後居室で口腔ケアをする方を分け口腔ケアをしてから排泄介助に入る。 ・ユニット 各ユニットの洗面台で口腔ケアをする方と居室で口腔ケアをする方を分け、口腔ケアをしてから排泄介助に入る or 排泄介助をしてから口腔ケアをする <p>2022年7月より開始をしたが開始直後は‘業務が増えた’、‘時間がない’といった声が挙がったが、口腔ケアはやらなくてはいけない業務であり、食事、排泄と同じくらい必要なケアである事を伝え続けていった。職員の理解と実施に時間を要してしまい、2023年2月頃ようやく、</p>			

流れが定着していき職員一人一人が口腔ケアを意識して行っている様子が見受けられ、何より実感しているのがご利用者の誤嚥性肺炎での入院が減っている事である。これは、ひとえに口腔ケアの重要性が表れているのだと思われる。

<次年度に向けて>

- ・今年度取り組んだ口腔ケアについて、新年度より「口腔ケア検討委員会」が発足する為、今後の取り組みに期待したい。
- ・次年度も新たなメンバーでまだ解決出来ていない課題や新たな課題を抽出し解決していきたい。活動日に関しては定例化し、確実に委員が集まれるスケジューリングを行う。

事業報告書

クラブ名称	民謡クラブ																																												
報告書作成日	2023年4月27日	主担当	山中 辰																																										
担当職員	大金美保（相談・主任）、西山奈智子（介護・副主任）、浦山真理子（介護）、清水麻子（看護・機能訓練）、山中辰（事務）、熊澤麻衣子（事務）																																												
スーパーバイザー	外池施設長																																												
報告期間	2022年4月1日	～	2023年3月31日 12ヶ月間																																										
<p><講師></p> <p>秀美会会主 大塚千代美先生 尺八奏者 飯田俊孝 先生 三味線 高浪真紀子先生</p> <p><定例活動日></p> <p>毎月第2木曜日・第4月曜日 14:00～15:00</p> <p><活動実績（日時：参加人数：内容等）></p> <p>民謡クラブ開催日には、早くから開催場所で待機しているご利用者や太鼓を叩く為に降りてくるご利用者がいるほど、大塚先生が来るのを楽しみにしており、先生のご指導の下、尺八、三味線、太鼓の生伴奏で各地の民謡を唄っている。また、中盤の体操では、先生がお昼ご飯の内容を聞くことがあり、その質問に答えるためにお昼ご飯の内容をメモに取るご利用者もいるほど楽しみにしている。民謡クラブは、心身の状態にとらわれずに、誰でも参加ができるクラブ活動であり、毎回多くのご利用者が参加している。</p> <p>（開始からの流れ）</p> <p>13:45～誘導開始 14:00～ 民謡クラブ開始 15:00～ 終了・誘導・反省会</p> <p>2022年度の活動実績は以下のとおり。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> <th>実施月</th> <th>実施回数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>2回</td> <td>64名</td> <td>10月</td> <td>2回</td> <td>57名</td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>1回</td> <td>36名</td> <td>11月</td> <td>1回</td> <td>25名</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>2回</td> <td>70名</td> <td>12月</td> <td>1回</td> <td>22名</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>2回</td> <td>61名</td> <td>1月</td> <td>2回</td> <td>61名</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>1回</td> <td>38名</td> <td>2月</td> <td>2回</td> <td>66名</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>2回</td> <td>72名</td> <td>3月</td> <td>2回</td> <td>58名</td> </tr> </tbody> </table> <p>計回、630名が参加した。</p> <p><次年度に向けて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・太鼓を叩くご利用者が固定化されているので多くのご利用者に太鼓を担当していただく。 				実施月	実施回数	参加人数	実施月	実施回数	参加人数	4月	2回	64名	10月	2回	57名	5月	1回	36名	11月	1回	25名	6月	2回	70名	12月	1回	22名	7月	2回	61名	1月	2回	61名	8月	1回	38名	2月	2回	66名	9月	2回	72名	3月	2回	58名
実施月	実施回数	参加人数	実施月	実施回数	参加人数																																								
4月	2回	64名	10月	2回	57名																																								
5月	1回	36名	11月	1回	25名																																								
6月	2回	70名	12月	1回	22名																																								
7月	2回	61名	1月	2回	61名																																								
8月	1回	38名	2月	2回	66名																																								
9月	2回	72名	3月	2回	58名																																								
以上																																													

事業報告書

クラブ名称	ミュージックピアッツァ		
報告書作成日	2023年4月27日	主担当	山中 辰
担当職員	山中辰（事務）、廣野園子（看護）、清水麻子（看護・機能訓練）、 浦山真理子（介護）、座間知子（相談）		
スーパーバイザー	外池施設長		
報告期間	2022年4月1日	～	2023年3月31日 12ヶ月間
<p><定例活動日> 毎月第2火曜日・第4火曜日 13:45～14:30</p> <p><講師> 玉本 博恵先生（リリムジカ所属）</p> <p><活動実績（日時：参加人数：内容等）> ミュージックピアッツァは、講師に音楽療法士の玉本先生をお招きし、毎月2回の音楽療法“ミュージックピアッツァ”を行っている。 歌の選曲は、季節、流行、ご利用者からのリクエストなどを取り入れ、導入、体を動かす楽曲、楽器を使う楽曲、終わりの曲といったプログラムと、プログラムに基づいた、歌手の顔写真やレコードのジャケット写真など、歌に関係する写真や絵も先生がご用意下さり、開催中はそれらを大型スクリーンに投影し、歌を回想できるようにしている。 今年度はご利用者の見守りが難しい為、ZOOMを使った取り組みを中止し、ご利用者にできる限り開催場所へ来ていただくこととしている。</p> <p>開催日、開始前から待機しているご利用者もおり、とても楽しみにされている。 また、川崎市音楽療法推進事業にも取り組んでおり、1年を通して数名のご利用者を対象に取組の評価・記録を行い、年度末に報告書を作成し川崎市に提出した。</p> <p>コロナウイルス感染症対応として、ソーシャルディスタンスを意識した配置や、換気。会終了後、使い終わった楽器はアルコール消毒を行った。</p> <p>（開始からの流れ） 13:30頃 誘導開始 13:45 ミュージックピアッツァ開始 14:30 終了・振り返りと評価</p>			

<次年度に向けて>

- ・評価対象とされるご利用者には最前列にて案内し、先生と一緒に様子観察をする。
- ・新しく楽器を購入し、ご利用者に選択をする幅を広げられるようにする。

2022年度の活動実績は以下のとおり

月	日付	参加人数	実施月	日付	参加人数
4月	12日	33名	10月	11日	18名
	26日	28名		25日	30名
5月	10日	36名	11月	8日	33名
				24日	33名
6月	14日	35名	12月	27日	31名
	28日	30名			
7月	15日	35名	1月	10日	26名
	26日	28名		24日	34名
8月	23日	36名	2月	14日	30名
				28日	35名
9月	13日	38名	3月	14日	30名
	27日	36名			

計 20 回開催、635 名参加

以上

事業報告書

クラブ名称	のど自慢大会		
報告書作成日	2023年4月26日	主担当	山中 辰
担当職員	山中辰（事務）、諏江信雄（カフェマスター）、大橋紀穂（事務） 浦山真理子（介護）、清水麻子（看護・機能訓練）		
報告期間	2022年4月1日	～	2023年3月31日 12ヶ月間
<p><定例活動費></p> <p>毎月第1水曜日・第3水曜日・第5水曜日（第5週時） 14:00～15:00</p> <p><活動実績（日時：参加人数：内容等）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラオケ機器の得点モードを使用し、ご利用者同士で得点を競いあい、当回の、準優勝、準々優勝さらに特別賞を決め、トロフィーを授与している。 ・トロフィーは居室に飾り保管し、次回で返還することとしている。 今では、居室にトロフィーを飾ることが、大会のステータスになっている。 ・年末には1年の締め括りとして“グランドチャンピオン大会”を開催し、優勝者には大きなトロフィーを授与、優勝者の称号としてペナントに名前を記入し飾っている。 ・段位表も作成し、トロフィーを授与されると氏名、歌った曲、日付、得点を記入。更に一段ずつ昇段していき名人を目指すといった取り組みを行った。 ・年始には紅白歌合戦としてチーム戦での取り組みを行っている。 <p>のど自慢大会開催の時期が近づくと、ご利用者があらかじめ何を歌うか決め、練習の唄声がフロアから聞こえたり、マルシェのカラオケ機器にて事前に練習する方もいっしょに、のど自慢大会への参加を楽しみしている様子が伝わってくる。</p> <p>開催日の午前中、担当が各番街を訪ねて、大会にエントリーするご利用者を募り、歌う曲名を確認することで、会の進行がスムーズになるように工夫している。</p> <p>また、全員の誘導が終わるまでの待ち時間には退屈をさせないようにBGMの代わりとして歌付きの歌をカラオケ機器にて選曲してご利用者が退屈しないようにしている。</p> <p>今年度は、新たな参加者が多くなり、いつもとは違う選曲や新たなライバルが出現しより一層参加者の気合が入っている様子が伺える。</p> <p>第5週の水曜日も引き続き開催し、チーム戦を行った。</p> <p>(開始からの流れ)</p> <p>13:45頃 誘導開始 14:00 のど自慢大会開催 14:55 結果発表&トロフィー授与</p>			

<次年度に向けて>

新規で歌って下さるご利用者も増えてきており、全員をエントリーするのが難しくなってきた。約 12 名でプログラム時間が終わるのでエントリーを選ぶ必要が出てきている。来年度は、プログラム内容の見直しが必要を行っていく。

2022 年度の活動実績は以下のとおり。

実施月	日付	参加人数	優勝者	準優勝者	準々優勝
4 月	6 日	35 名	古谷様	伊藤様	堀井様
	20 日	29 名	古谷様	北村様	谷口様
5 月	4 日	33 名	伊藤様	古谷様	吉澤様
	18 日	32 名	伊藤様	北村様	古谷様
6 月	1 日	31 名	伊藤様	原 様	吉澤様
	15 日	32 名	植松様	吉澤様	北村様
	29 日	28 名			
7 月	6 日	32 名	伊藤様	原 様	古谷様
	24 日	38 名	堀井様	伊藤様	渡邊様
8 月	3 日 中止				
	17 日	25 名	古谷様	伊藤様	小林様
9 月	7 日	31 名	伊藤様	萬里小路様	吉澤様
	21 日	37 名	萬里小路様	古谷様	岡本様
10 月	5 日	31 名	萬里小路様	北村様	吉澤様
	19 日	31 名	古谷様	小林様	川本様
11 月	2 日	29 名	萬里小路様	伊藤様	小林様
	16 日	31 名	伊藤様	小林様	古谷様
12 月	中止				
1 月 グラチャン	4 日	22 名	谷口様	小林様	伊藤様
	20 日	18 名	小林様	吉澤様	萬里小路様
2 月	2 日	26 名	萬里小路様	伊藤様	吉澤様
	15 日	35 名	萬里小路様	小林様	伊藤
3 月	8 日	32 名	西村様	塚本様	伊藤様
	22 日 中止	29 名	宮澤様	伊藤様	古谷様

計 21 回開催、667 名参加

以上

事業報告書

クラブ名称	よいどころ																	
報告書作成日	2023年4月26日	主担当	浦山真理子															
担当職員	外池永尚施設長、諏江信雄（カフェ）山田邦彦（栄養）、小曾根千絵（栄養） 廣瀬千鶴（介護）、浦山真理子（介護）、相談係、事務課																	
報告期間	2022年4月1日	～	2023年3月31日 12ヶ月間															
<p><活動日> 毎月1回程度 16:00～17:30</p> <p><活動実績（日時：参加人数：内容等）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・常盤台農園の旬の野菜をメニューに盛り込み、美味しいおつまみとお酒、ソフトドリンクを提供し、後半はカラオケをご利用者に楽しんで頂いている。 ・日常の食事では提供できないものや、季節を感じる一品など、ご利用者からのリクエストにもお応えしながら、家庭的な料理を提供している。 ・ご利用者の食形態に合わせて食べやすいように臨機応変に対応し、食欲が低下した方には食をそそるような料理を提供している。 <p>*今年度の活動実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>参加人数</th> <th>メニュー等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月13日</td> <td>31名</td> <td>筍ごはん、菜の花の辛し和え、筍の煮物、若竹汁</td> </tr> <tr> <td>6月8日</td> <td>40名</td> <td>カツオのタタキ、大根の煮物、アスパラガスとトマトサラダ</td> </tr> <tr> <td>2月22日</td> <td>30名</td> <td>揚げ出し豆腐、おつまみ三種盛り</td> </tr> <tr> <td>3月15日</td> <td>34名</td> <td>焼きうどん、季節の二種盛り</td> </tr> </tbody> </table> <p>計4回、延135名が参加された。1回来店者数：平均33.7名 新型コロナウイルス感染症の影響もあり今年度も4回の開催となった。</p> <p><次年度に向けて></p> <ul style="list-style-type: none"> ・月1回のよいどころを皆様とても楽しみにされているため、引き続き、安全に、美味しく、旬の食材を楽しんで頂けるよう、担当者間で連携し、運営していきたい。 ・来年度より毎月第4水曜日の開催となる。 <p style="text-align: right;">以上</p>				実施日	参加人数	メニュー等	4月13日	31名	筍ごはん、菜の花の辛し和え、筍の煮物、若竹汁	6月8日	40名	カツオのタタキ、大根の煮物、アスパラガスとトマトサラダ	2月22日	30名	揚げ出し豆腐、おつまみ三種盛り	3月15日	34名	焼きうどん、季節の二種盛り
実施日	参加人数	メニュー等																
4月13日	31名	筍ごはん、菜の花の辛し和え、筍の煮物、若竹汁																
6月8日	40名	カツオのタタキ、大根の煮物、アスパラガスとトマトサラダ																
2月22日	30名	揚げ出し豆腐、おつまみ三種盛り																
3月15日	34名	焼きうどん、季節の二種盛り																